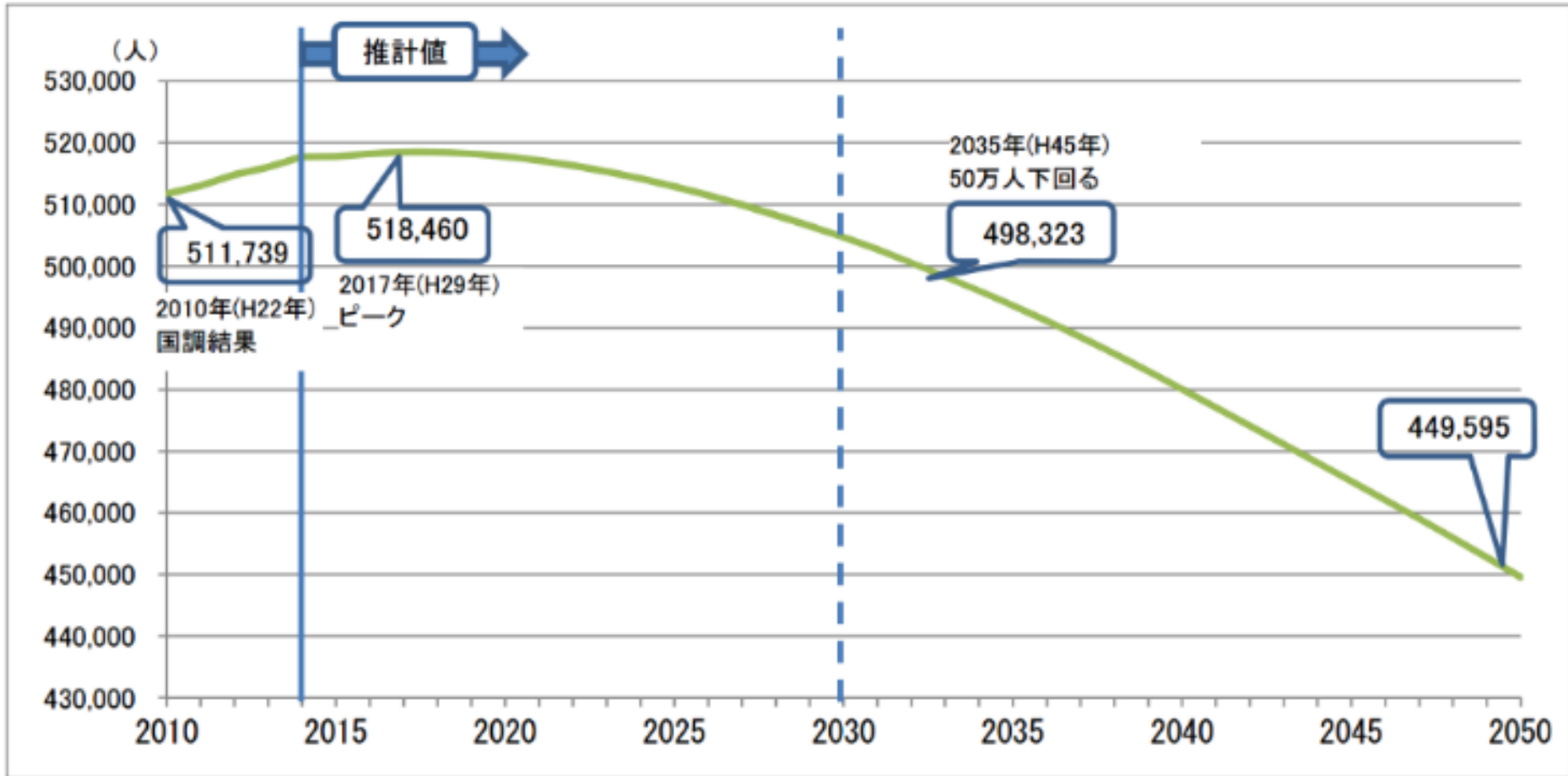


○「人口減少, 少子化, 超高齢化の進行への対応」に関するデータ

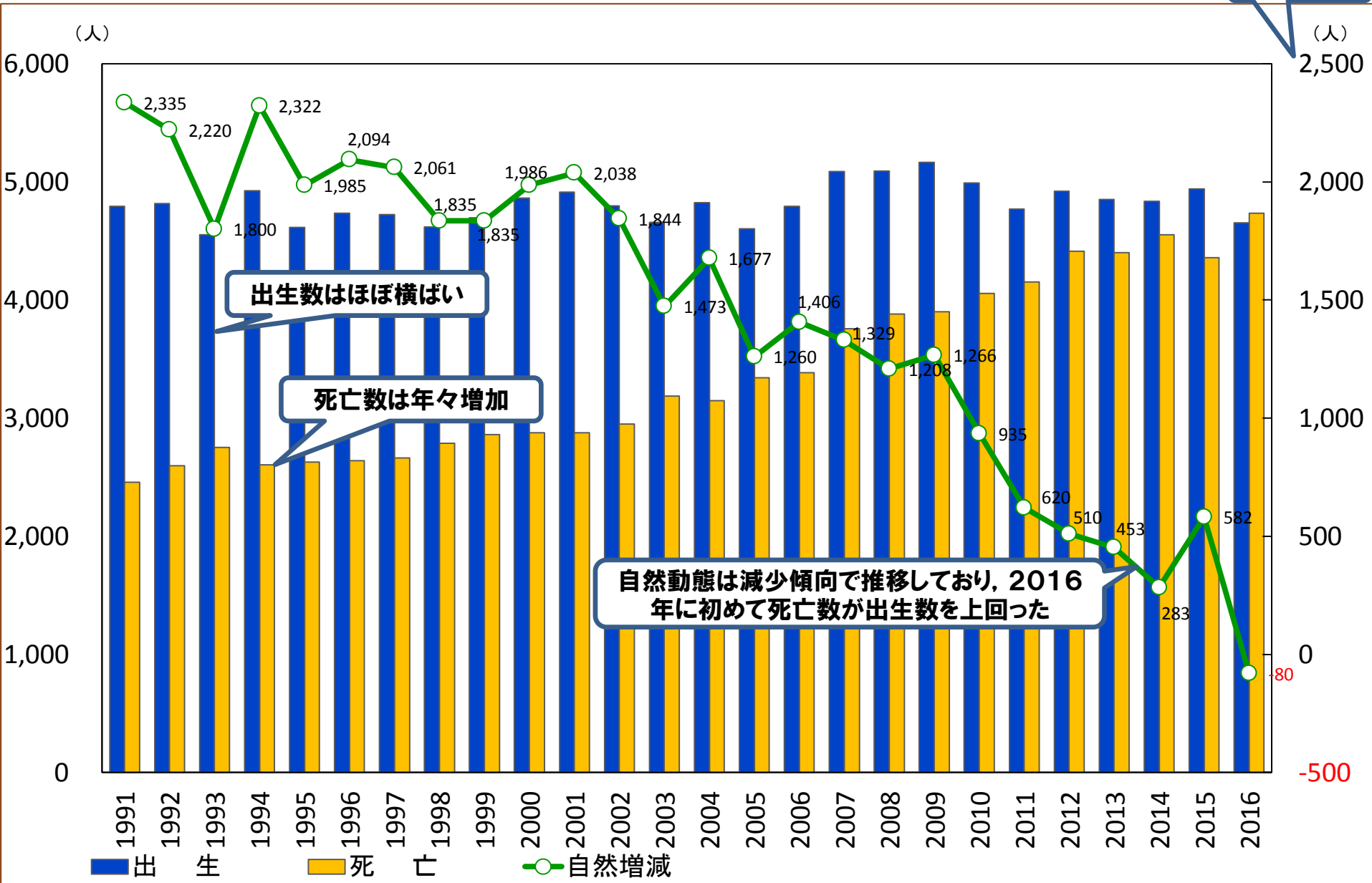
■宇都宮市の総人口の推移と見通し



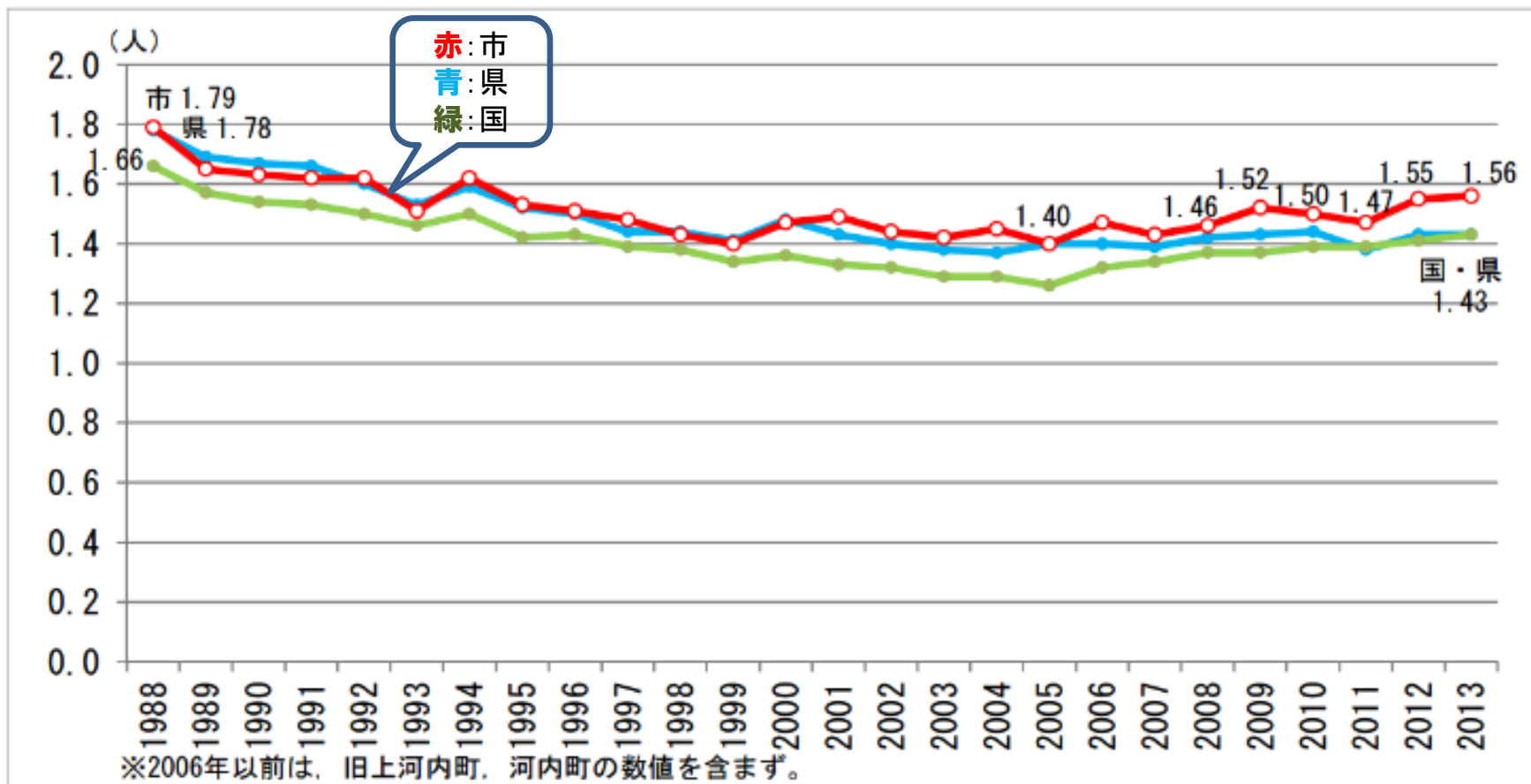
出典:「宇都宮市人口ビジョン」

- ・本市人口は平成29年をピークに減少に転じ, 2050年には45万人を切ると推計
- ・現在, 最新の平成27年国勢調査結果をもとに, 推計の見直しを実施中

■出生数・死亡数及び自然増減の推移



■宇都宮市の合計特殊出生率の推移

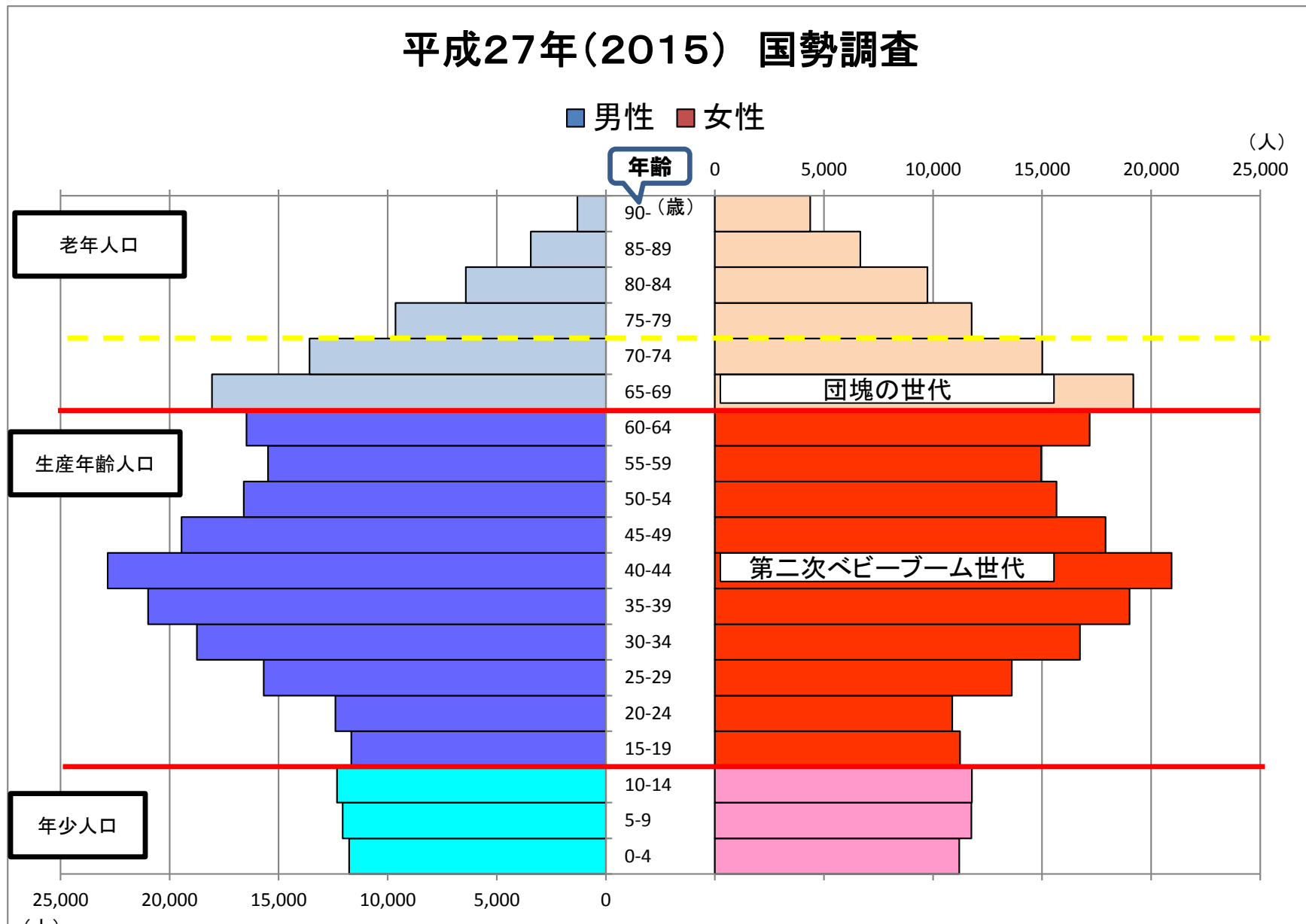


- ・2000～2005年頃に底打ちし、上昇傾向
- ・本市は全国、県よりも高い水準で推移

出典:「宇都宮市人口ビジョン」

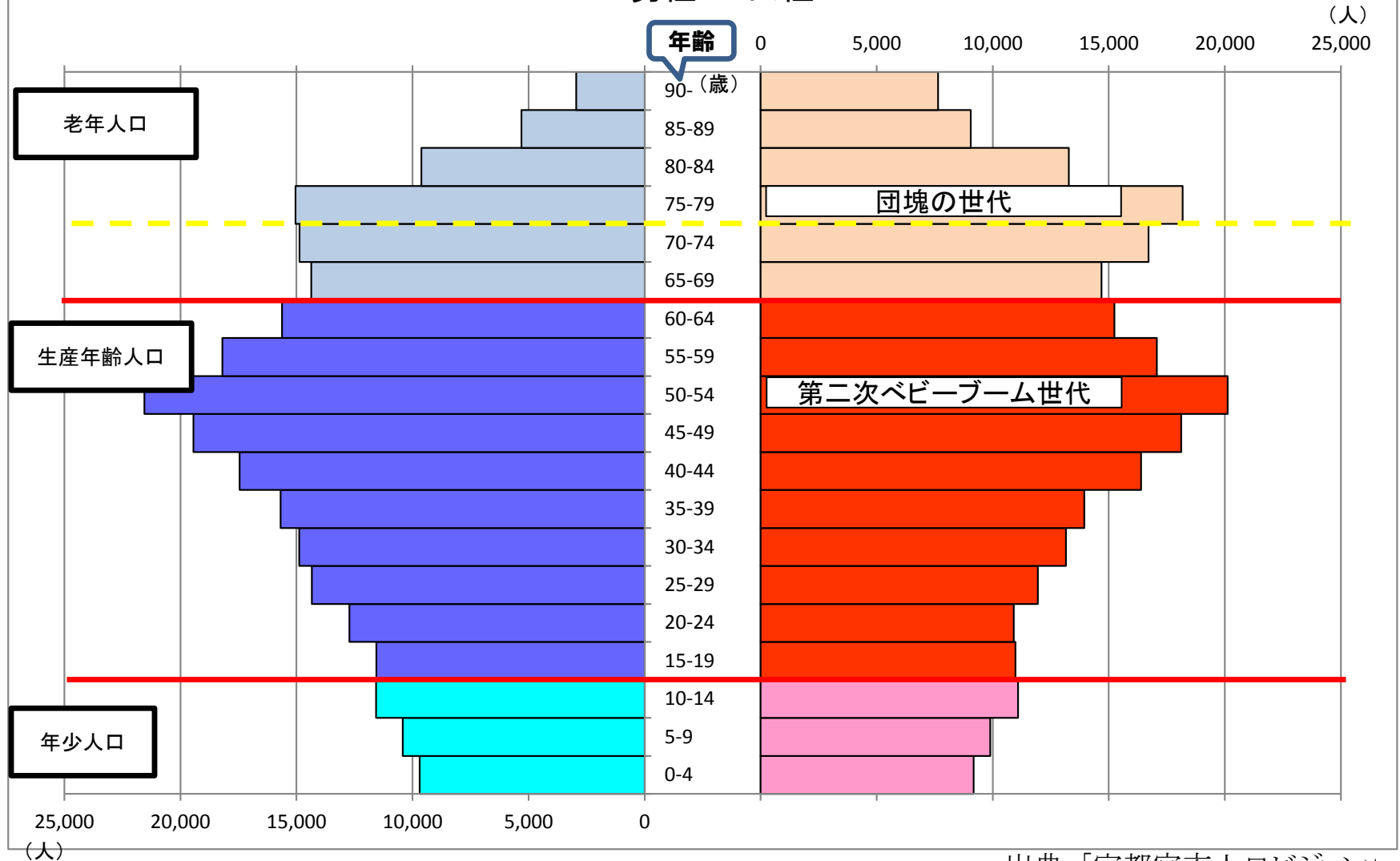
■宇都宮市の人口ピラミッドの見通し(趨勢型)

※2015年国勢調査結果と、2025年、2050年の趨勢型の推計



平成37年(2025) 将来推計(趨勢型)

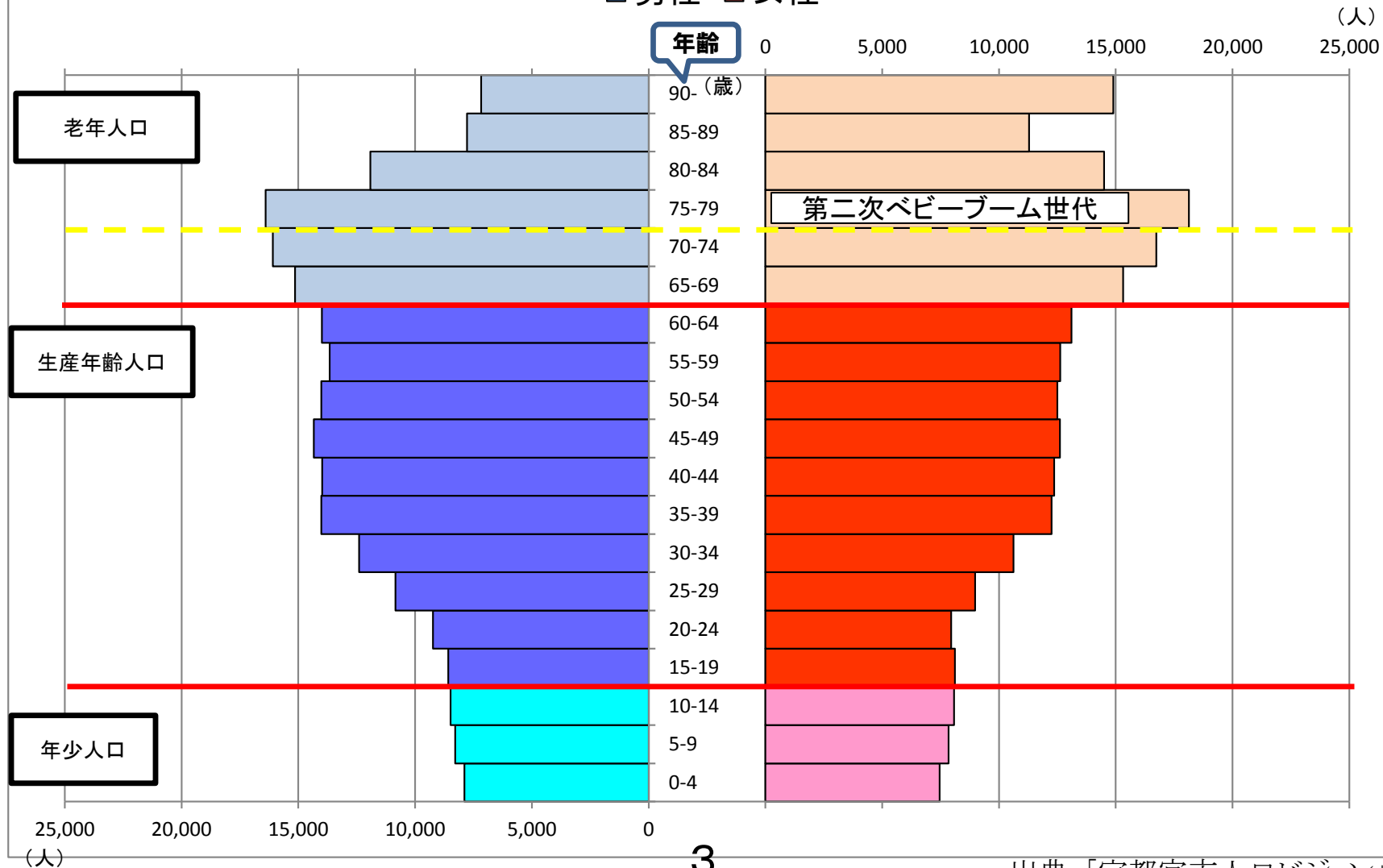
■ 男性 ■ 女性



- ・第2次ベビーブーム世代が老年人口世代へと移行
- ・生産年齢人口、年少人口の減少傾向が続き、逆三角形型になると推計

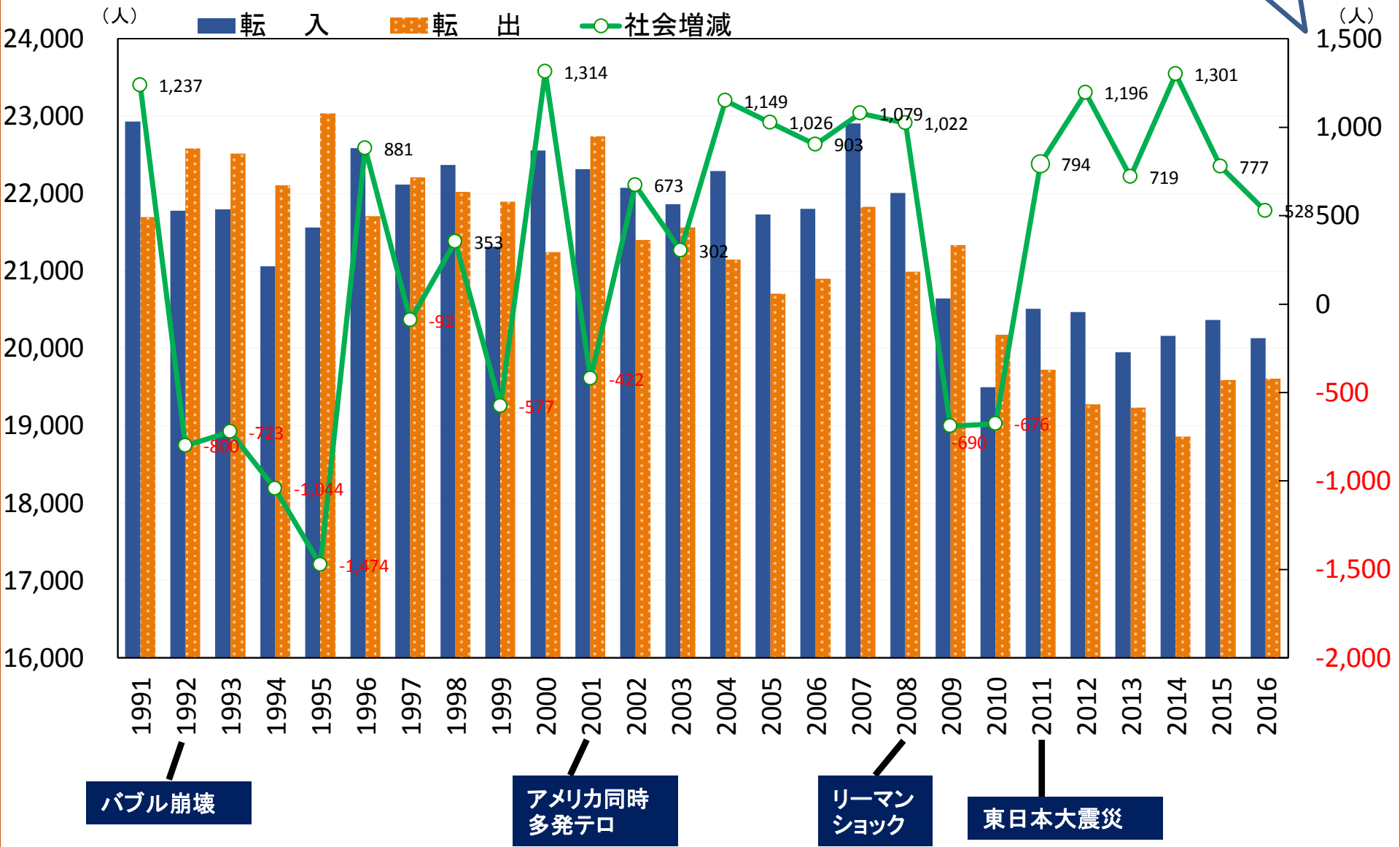
平成62年(2050) 将来推計(趨勢型)

■ 男性 ■ 女性



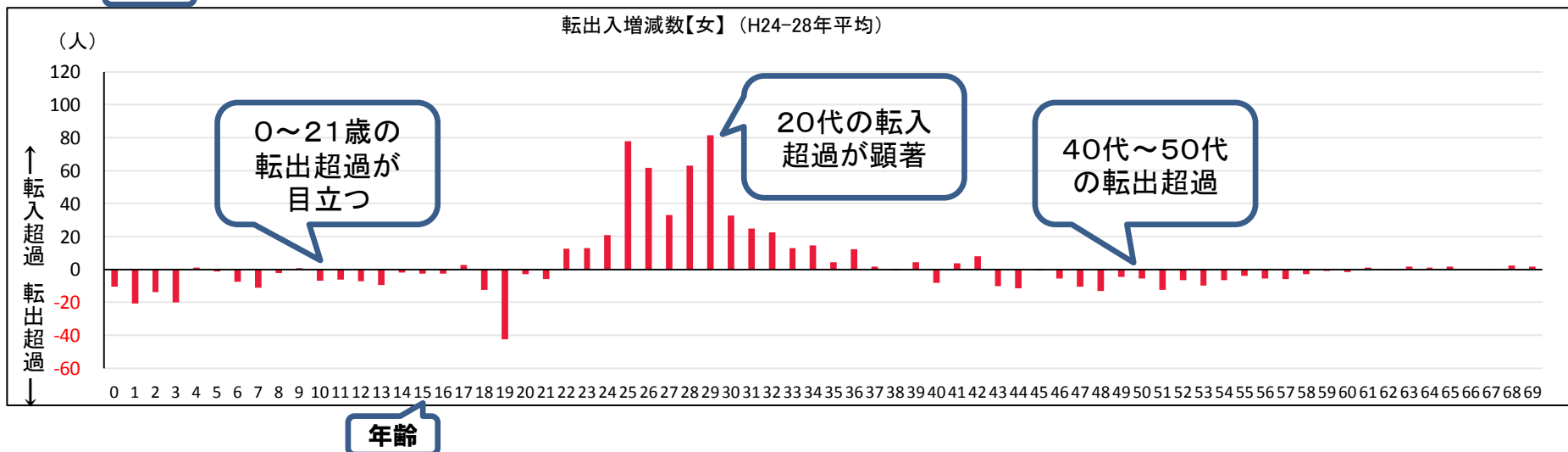
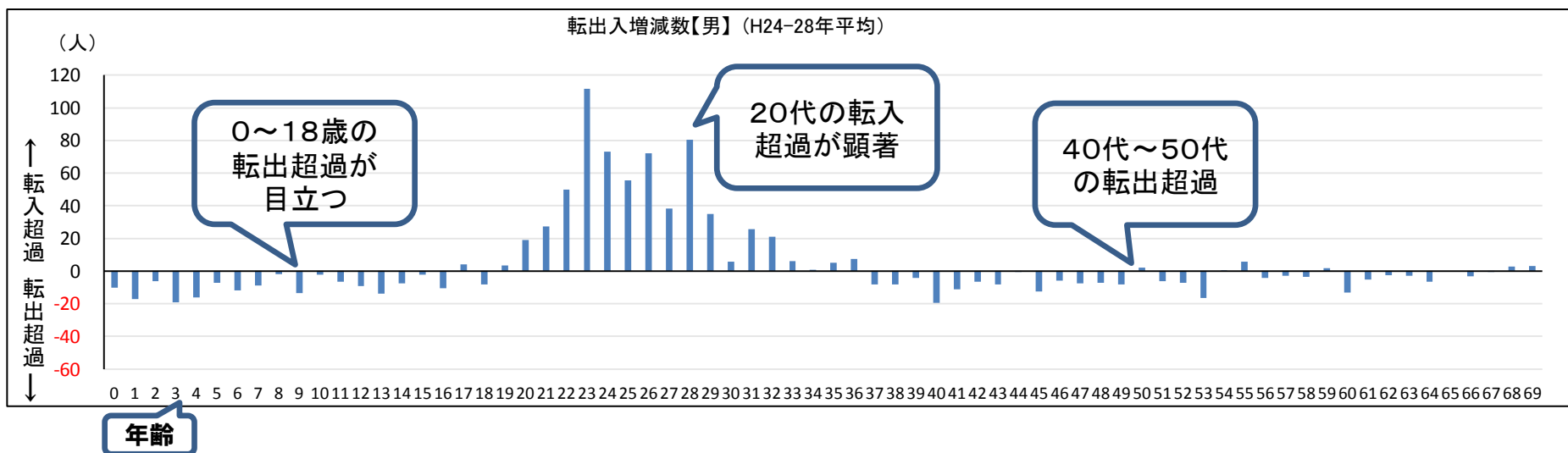
社会増減数

■ 転入者数・転出者数及び社会増減の推移



・社会動態は自然災害や社会情勢の変化に影響を受けやすく、乱高下しながら推移しているが、2011年から転入超過が続いている

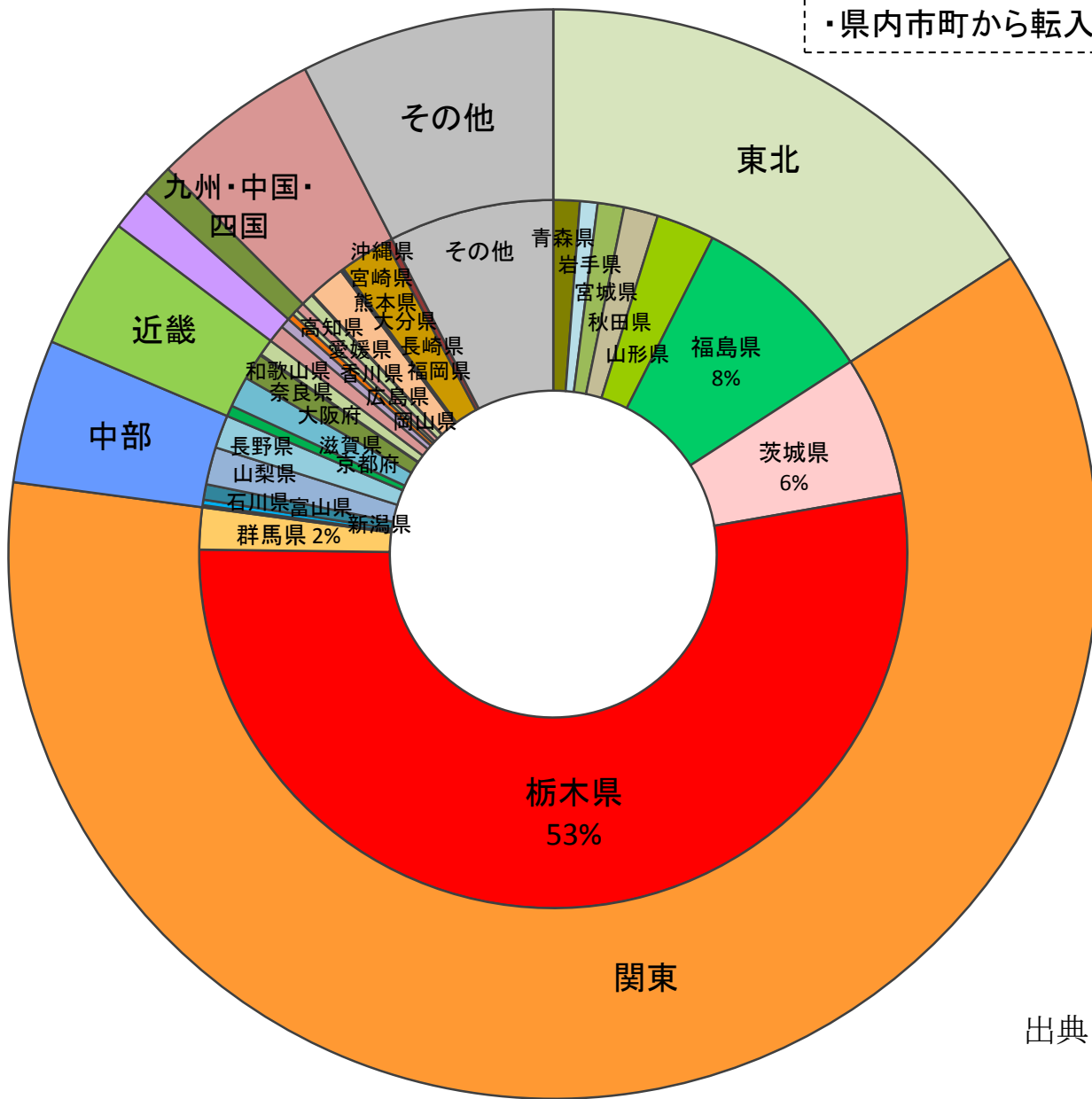
■宇都宮市の男女別，年齢別の転出入増減数の推移



・男女とも20代から30代前半にかけて転入超過になっている

■宇都宮市への転入超過の内訳

・県内市町から転入超過の割合が大きい

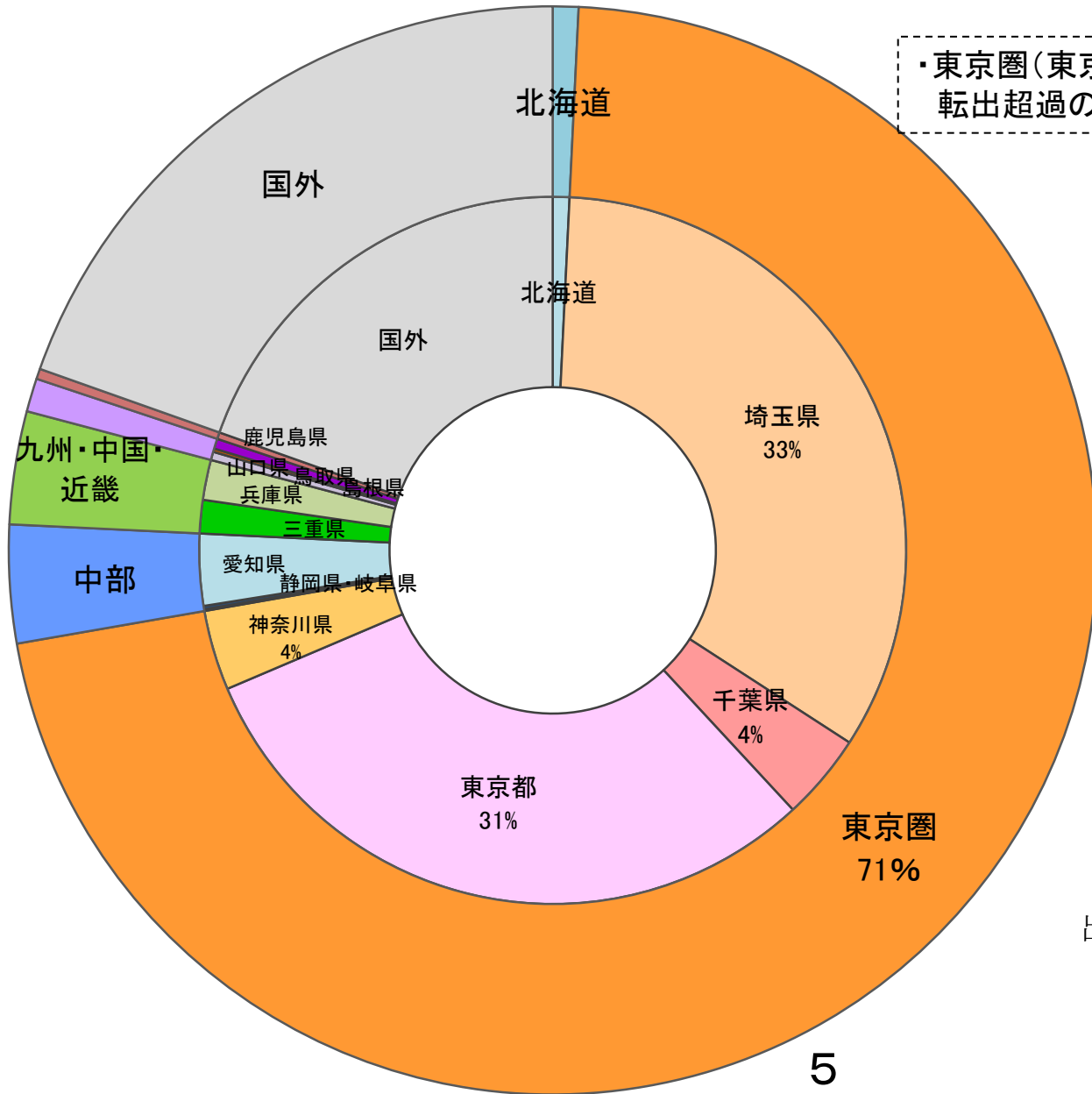


・栃木県内市町からの転入出者数の状況

年度	26
転入者数	6,480
転出者数	5,215
転入超過数	1,265

出典:「宇都宮市人口ビジョン」

■宇都宮市からの転出超過の内訳



・東京圏(東京都, 神奈川県, 千葉県, 埼玉県)への転出超過の割合が大きい

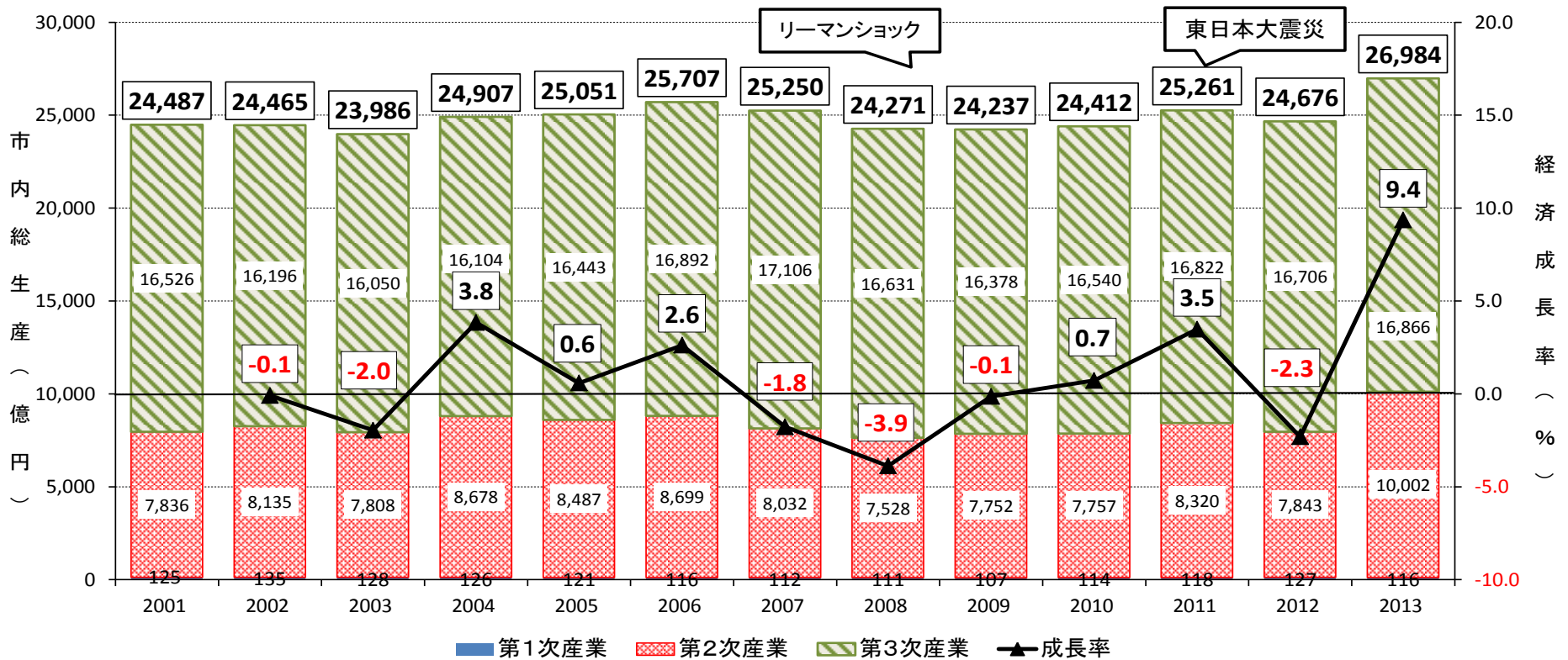
・東京圏への転入出者数の状況

年度	26
転入者数	5,389
転出者数	6,481
転出超過数	▲1,092

出典:「宇都宮市人口ビジョン」

○「経済環境の変化への対応」に関するデータ

■市内総生産と経済成長率の推移

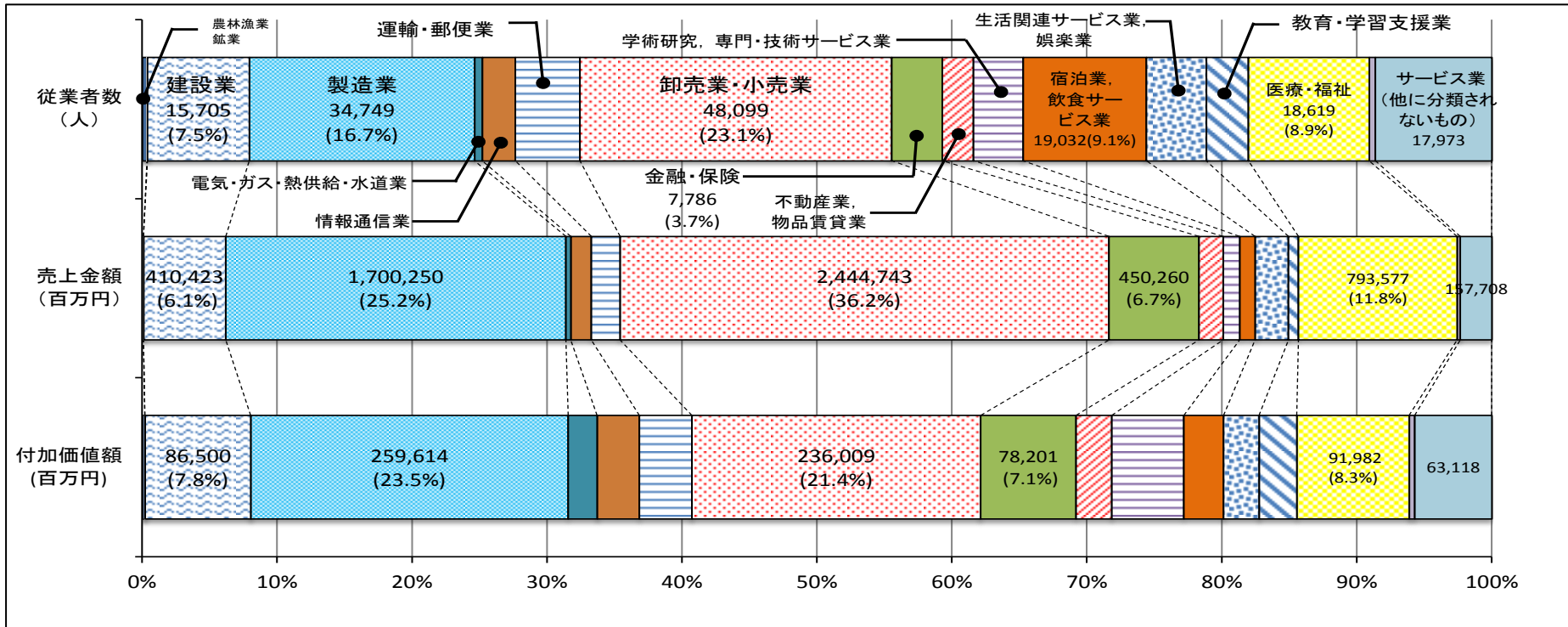


出典：市町村民経済計算（栃木県）

- ・リーマンショックや東日本大震災などの影響により、市内総生産は増減を繰り返しているが、2013年に大きく増加
- ・2013年の第2次産業と第3次産業の割合は、およそ4:6

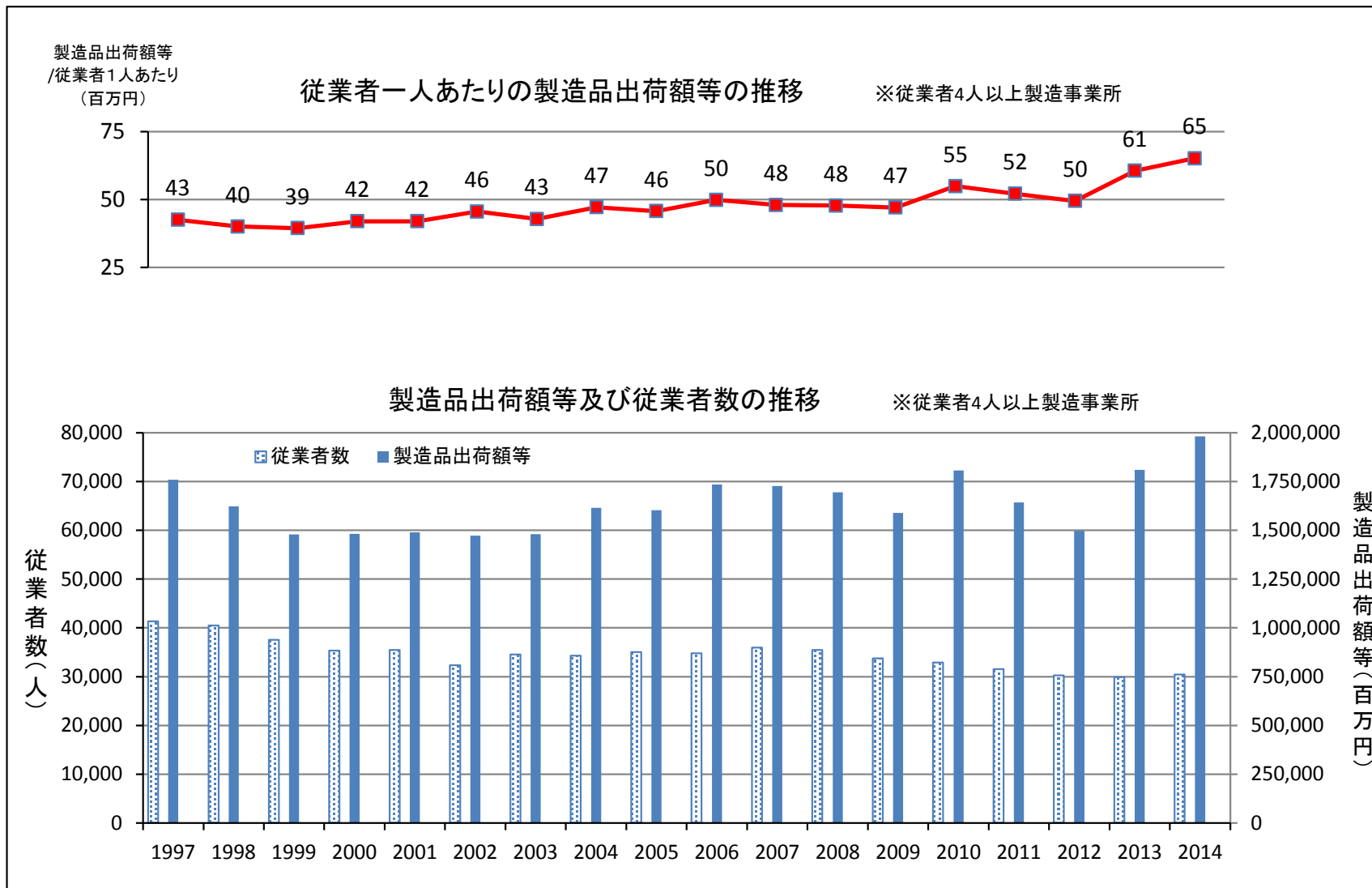
■宇都宮市の産業別構成比

- ① 従業者数: 構成比率が高い産業は卸売業・小売業(23.1%), 続いて製造業(16.7%), 宿泊業・飲食サービス業(9.1%)
- ② 売上金額: 卸売業・小売業, 製造業の比率が高く, 続いて医療・福祉(11.8%)となっている
- ③ 付加価値額: 構成比率が高い産業は製造業(23.5%), 卸売業・小売業(21.4%), 医療・福祉(8.3%)の順になっている
製造業は, 卸売業・小売業と比較して少ない従業員数でより多くの付加価値額を生み出している



出典:「平成24年経済センサス-活動調査結果」(総務省統計局)

■ 製造業の推移



出典:「工業統計調査結果」(経済産業省)を加工して作成

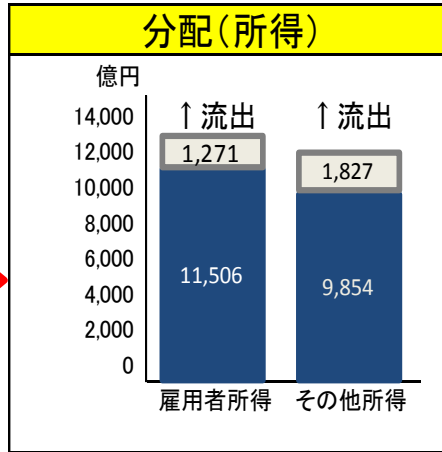
- ・従業者一人あたりの製造品出荷額等は上昇傾向にあり、15年の間で約1.6倍に伸びている。
- ・製造品出荷額等は、経済や社会の状況により増減がある。
- ・従業者数は減少傾向にあるが、近年の製造品出荷額等は増加傾向にある。

■宇都宮市の経済循環(H22)

- ① 生産: 第3次産業の付加価値額の割合が高く、全体の68%を占めている。
- ② 分配: 本市の地域経済循環率は、114.5%であり、本市の所得は、他地域に依存していない。
- ③ 支出: 「その他の支出」で域外からの流入があり、市内産業の域際収支によるものと考えられる。

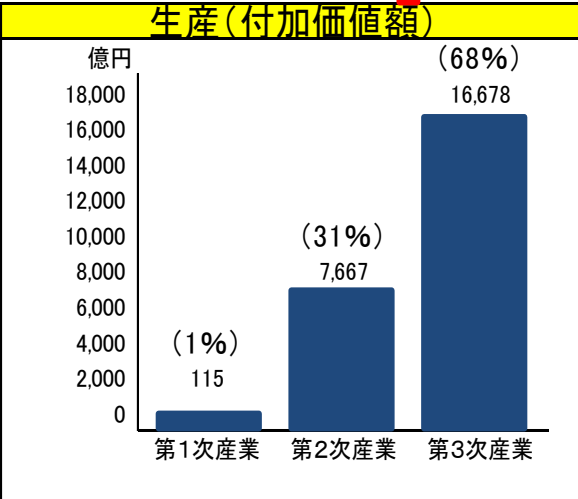
地域経済循環率(生産÷分配)
114.5%

所得への分配
24,459

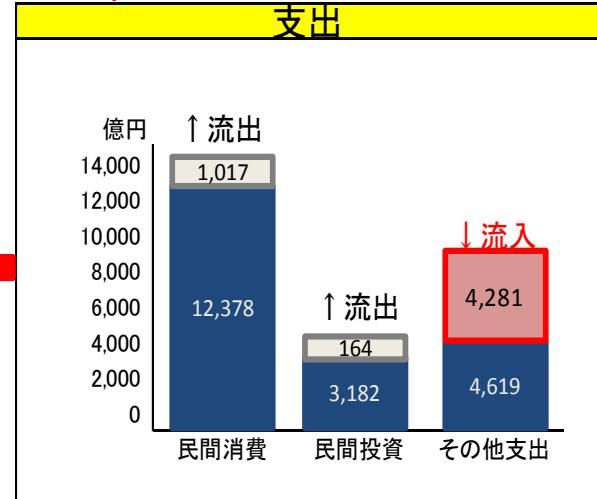


◻ 地域外への流出
◼ 地域外からの流入

所得からの支出
21,360



支出による生産への還元
24,459



※地域経済循環率 生産(付加価値額)を分配(所得)で除した値であり、地域経済の自立度を示している(値が低いほど、他地域から流入する所得に対する依存度が高い)。

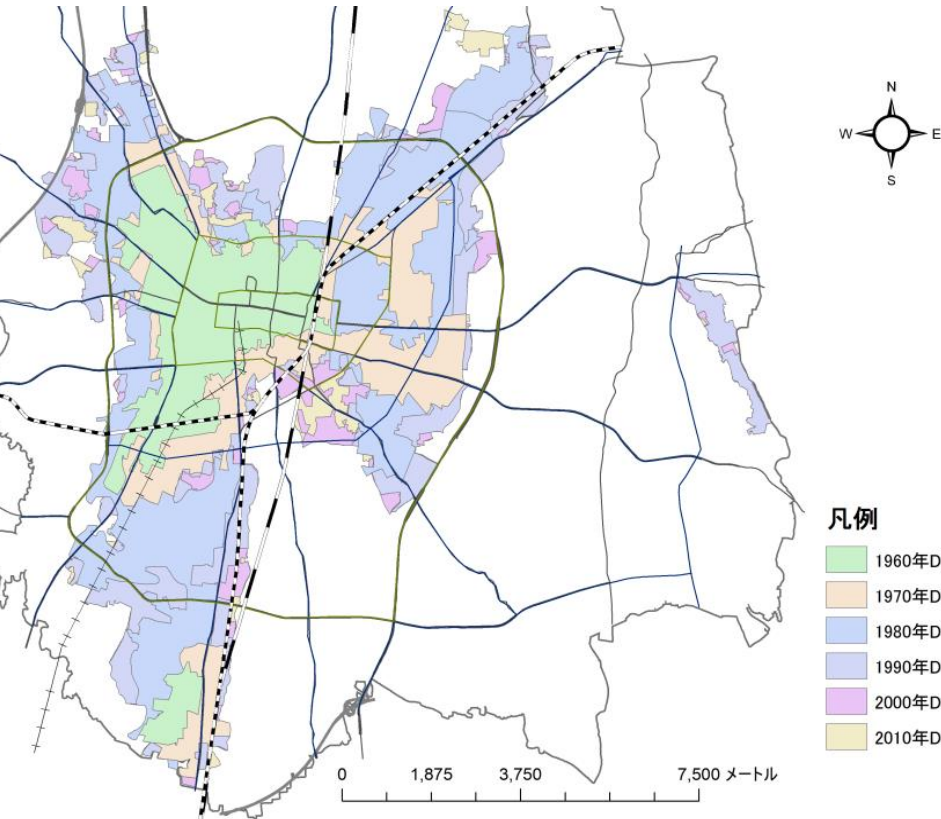
※その他所得 財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付等、雇用者所得以外の所得により構成される。

※その他支出 政府支出、地域内産業の移出入収支額等により構成される。

出典: 地域経済分析システム(まち・ひと・しごと創生本部)

○「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成」に関連するデータ

■市街地の推移



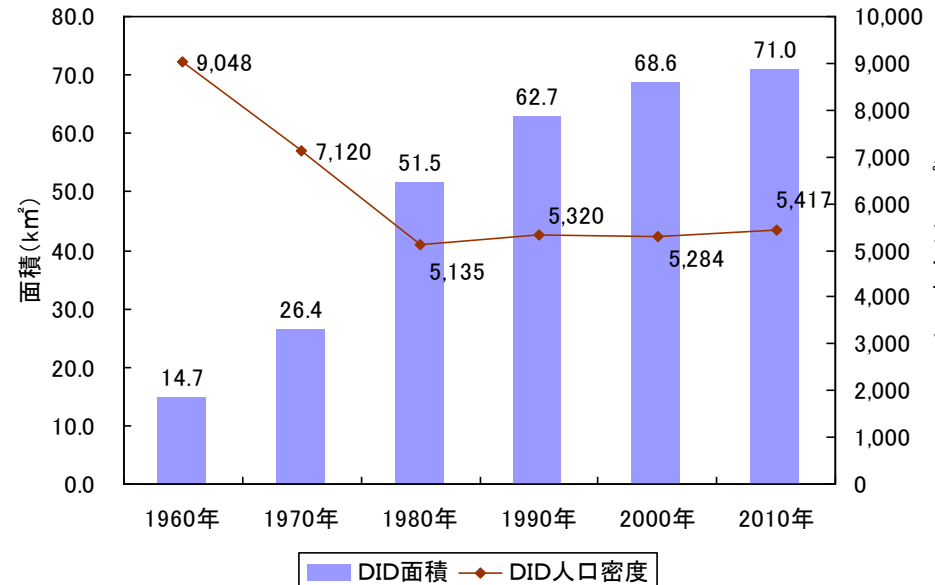
凡例

- 1960年DID
- 1970年DID
- 1980年DID
- 1990年DID
- 2000年DID
- 2010年DID

DIDの変遷(1960~2010)

・本市では、人口の増加と比例して人口集中地区(DID)が拡大し、同時に中心部と郊外部における密度のメリハリが少なくなっている

年次	総人口 (千人)	DID 人口 (千人)	DID 面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
1960	262	133	14.7	9,048
1970	324	188	26.4	7,120
1980	409	264	51.5	5,135
1990	465	334	62.7	5,320
2000	488	362	68.6	5,284
2010	512	385	71.0	5,417

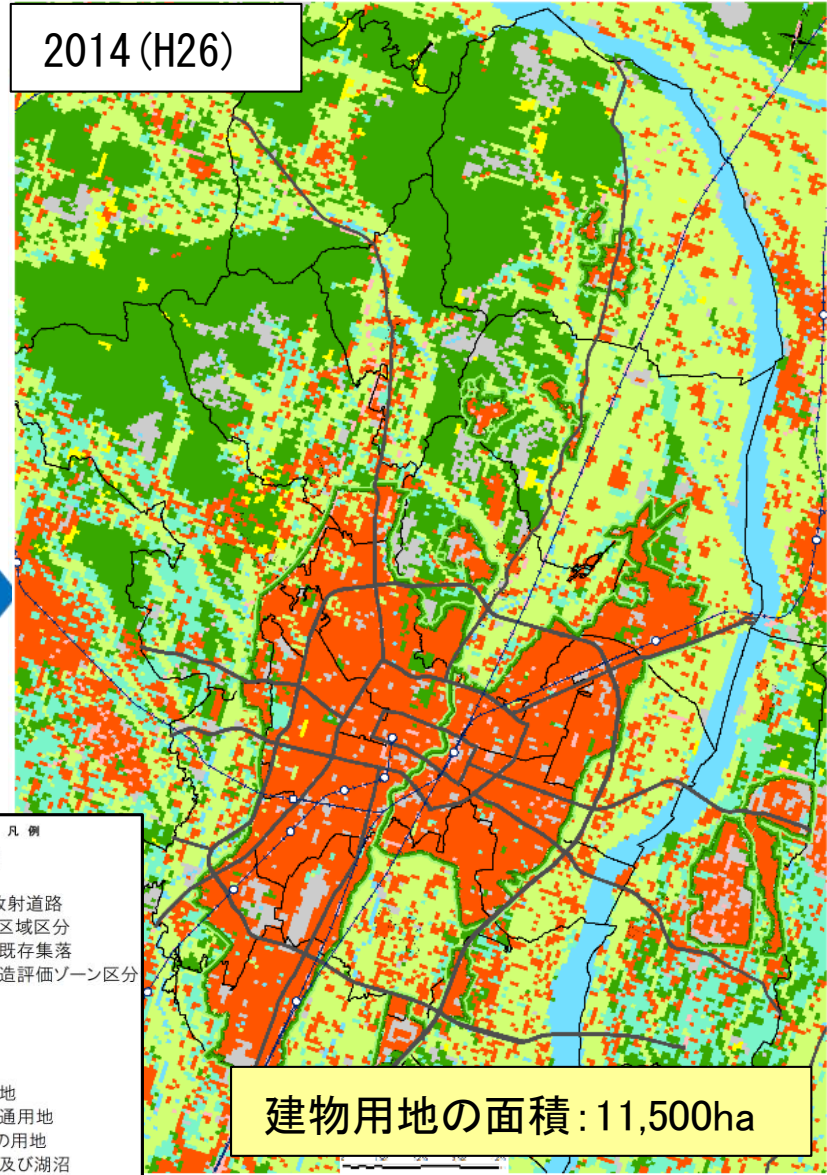
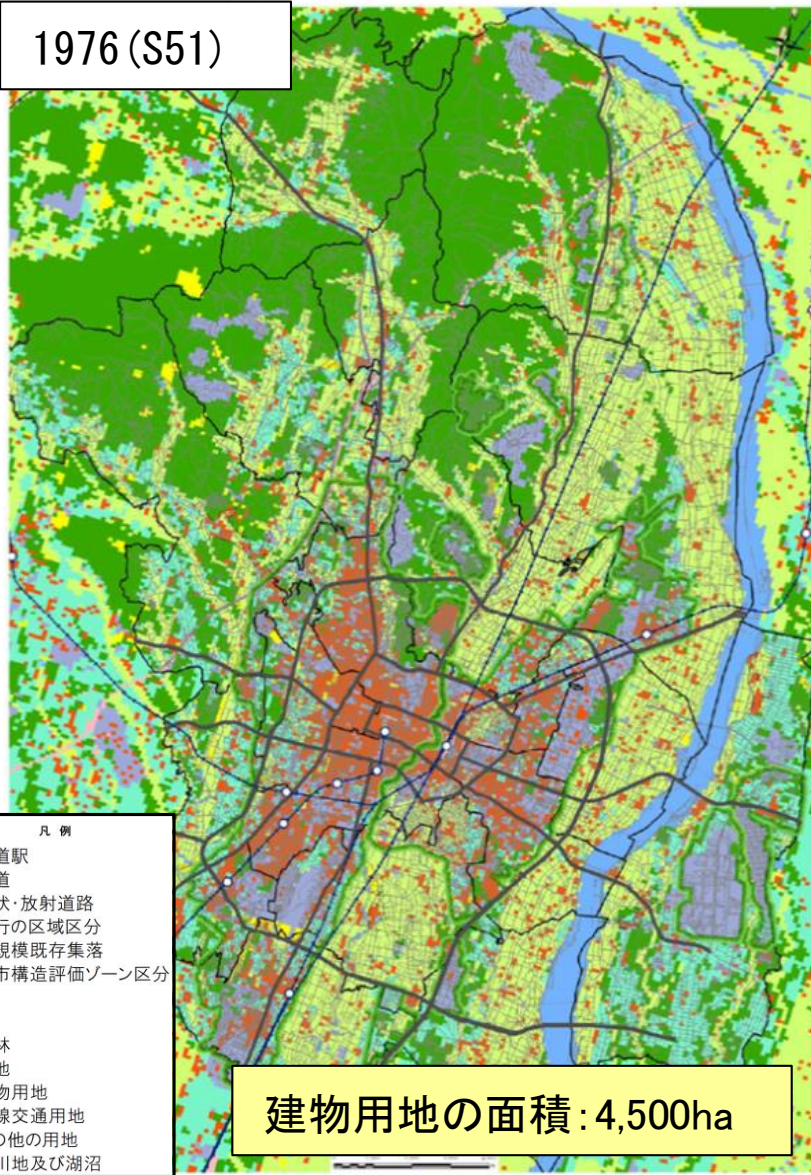


■ DID面積 ◆ DID人口密度

■宇都宮市の建物用地と農地・緑地の分布

1976 (S51)

2014 (H26)

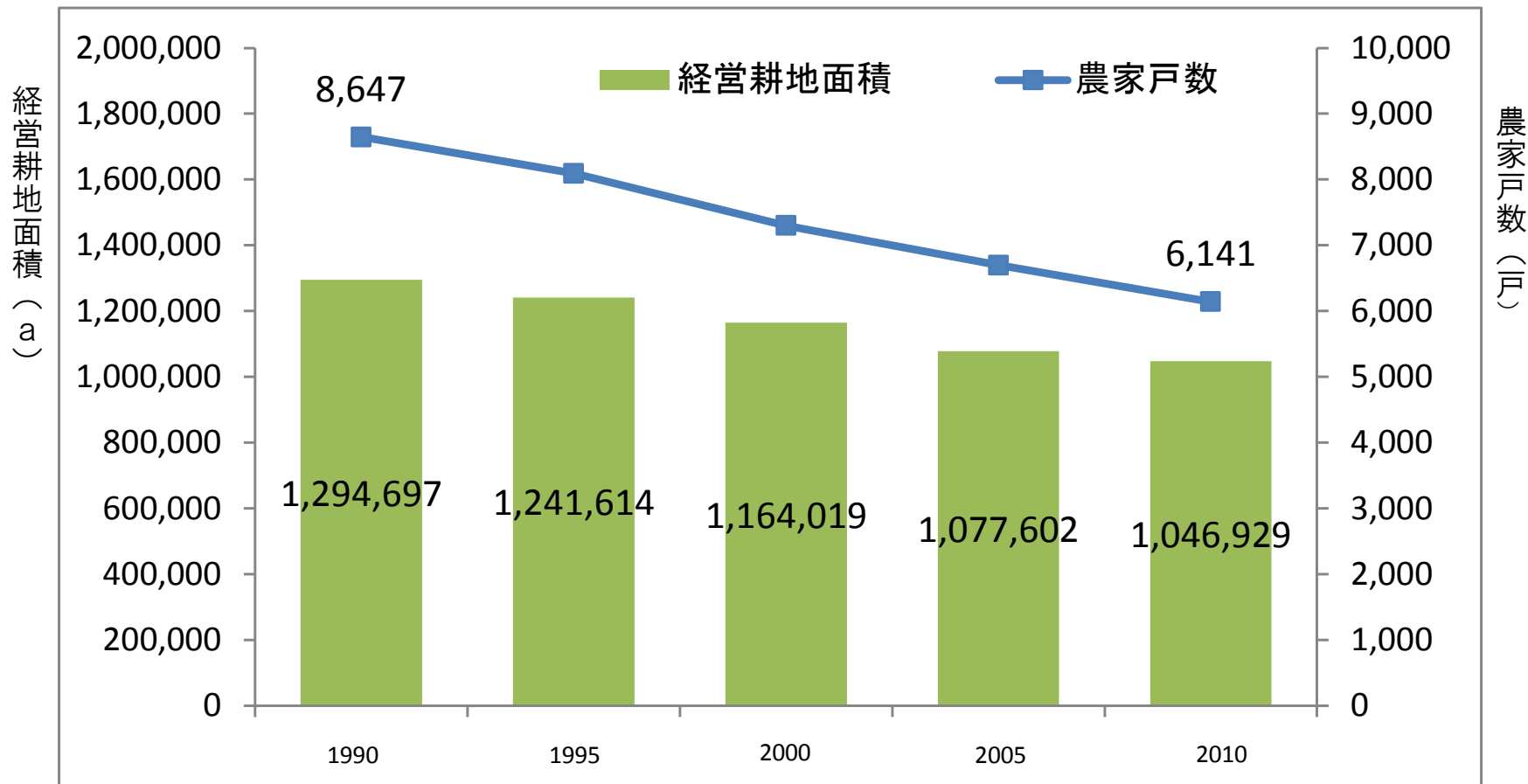


建物用地の面積: 4,500ha

建物用地の面積: 11,500ha

・人口増加やモータリゼーションの進展に伴い、市街地(建物用地)は昭和51年(1976年)から平成26年(2014年)の約40年間で4,500haから11,500 haと約2.5倍に拡大する一方で、農地や緑地、森林は約6,000ha減少

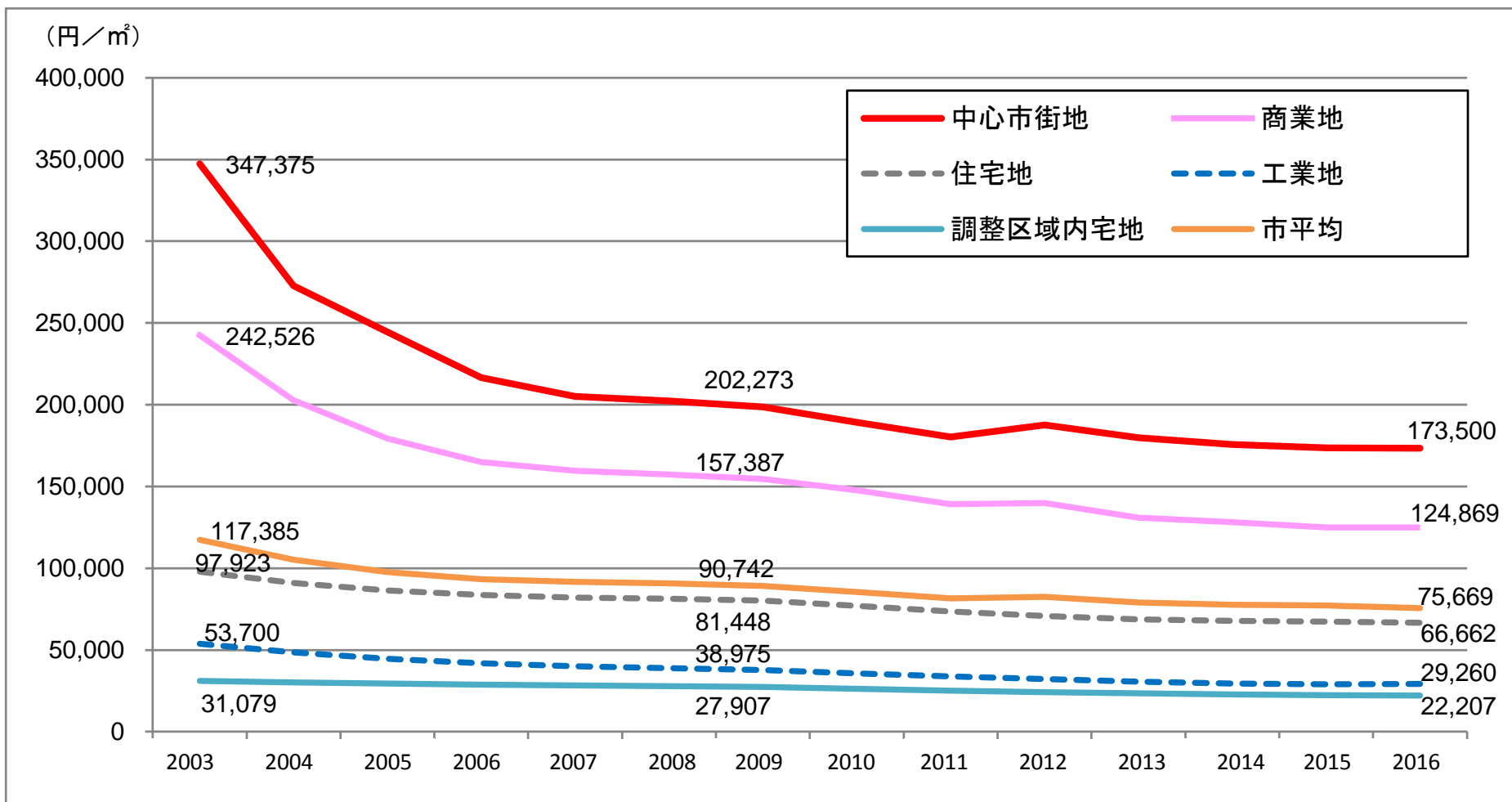
■宇都宮市の農地面積(経営農地面積)の推移



・農地面積は年々減少し、この20年間で1割減少し、また、農家戸数は平成2(1990)年の8,647戸から平成22(2010)年には6,141戸と、約3割減少

出典:宇都宮市統計データバンク

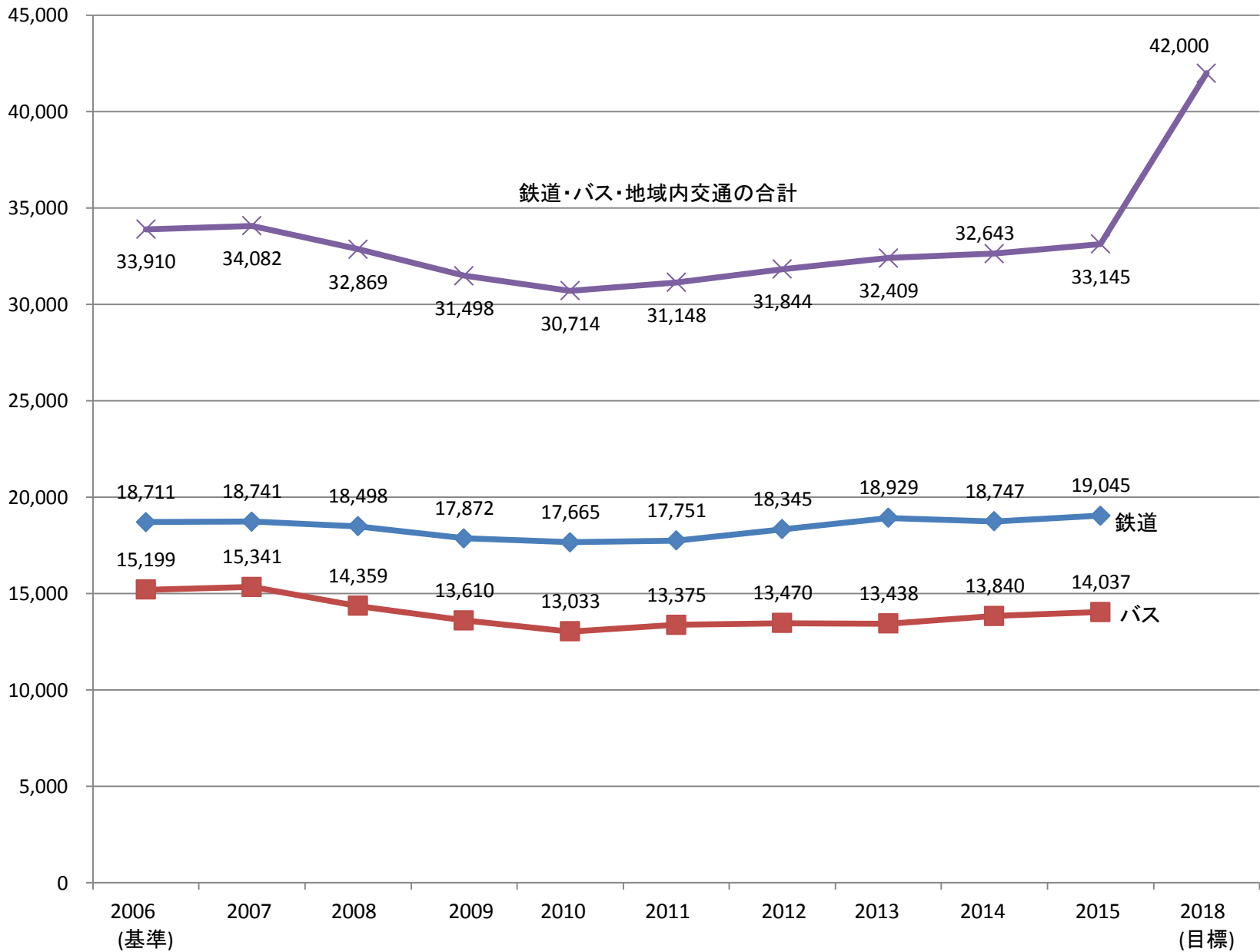
■地価公示価格の推移



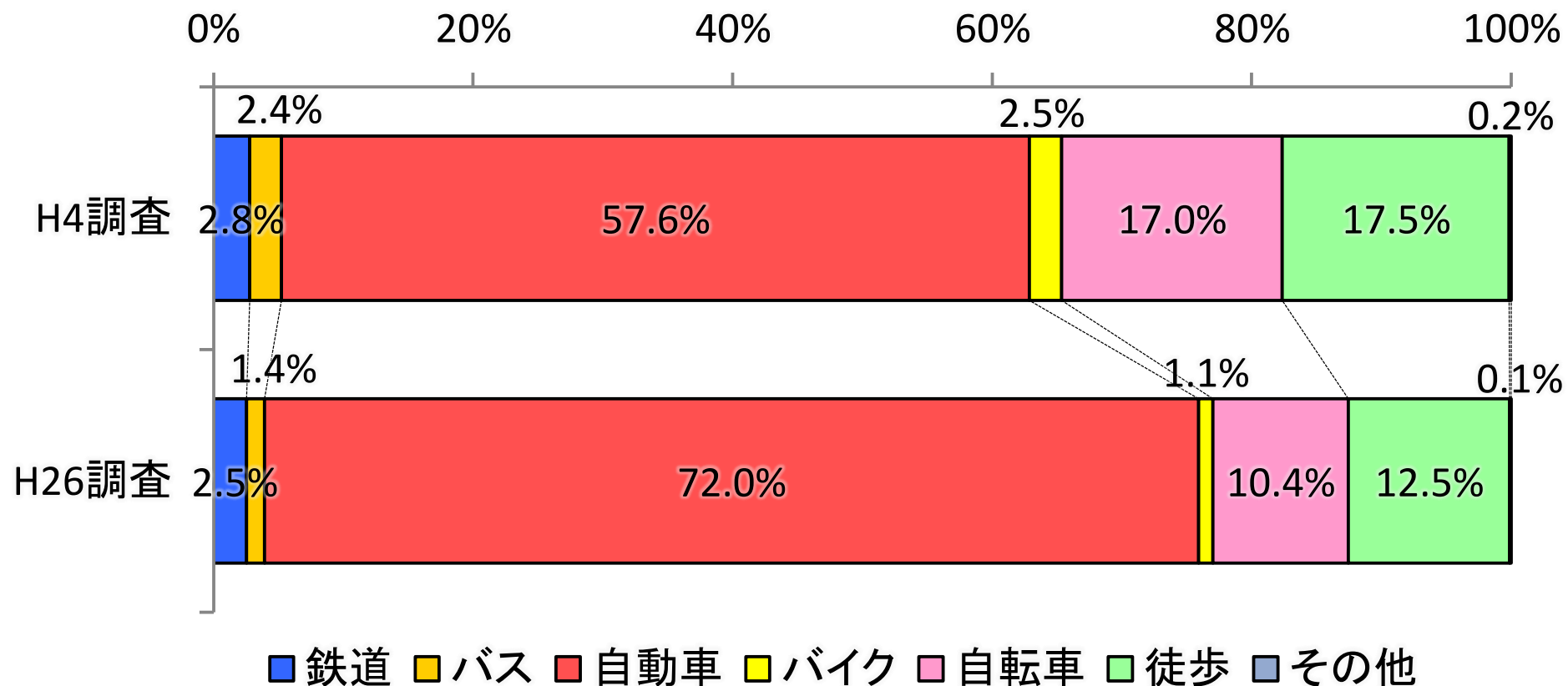
・中心市街地の平均地価は、平成15年(2003年)の347,375円/㎡から、平成28年(2016年)は173,500円/㎡と約10年間で半減

■宇都宮市のバス・鉄道年間利用者数の推移

千人/年



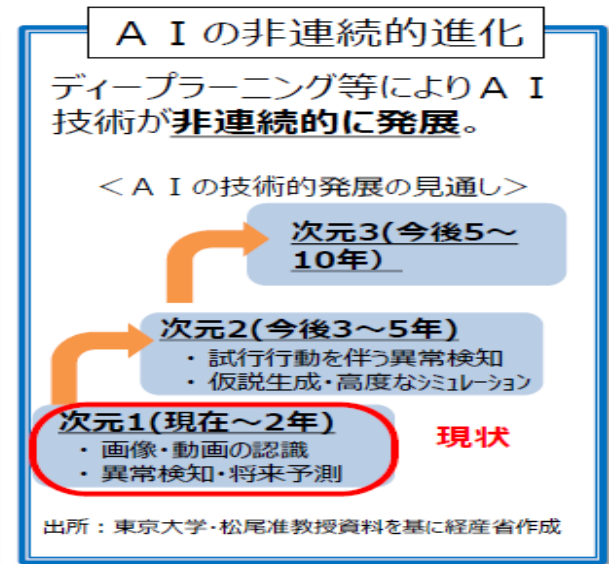
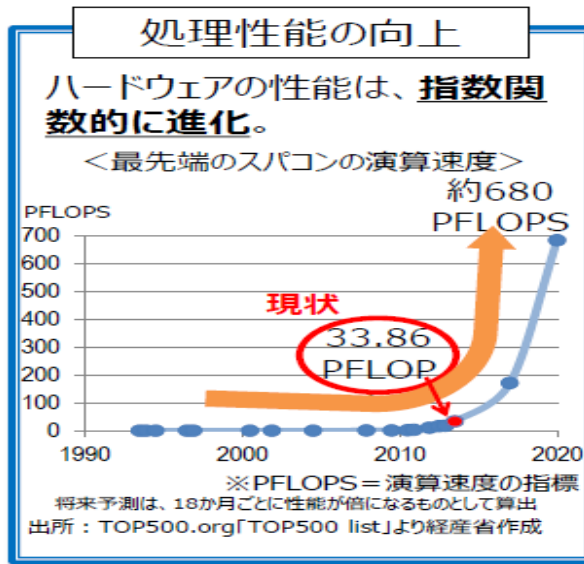
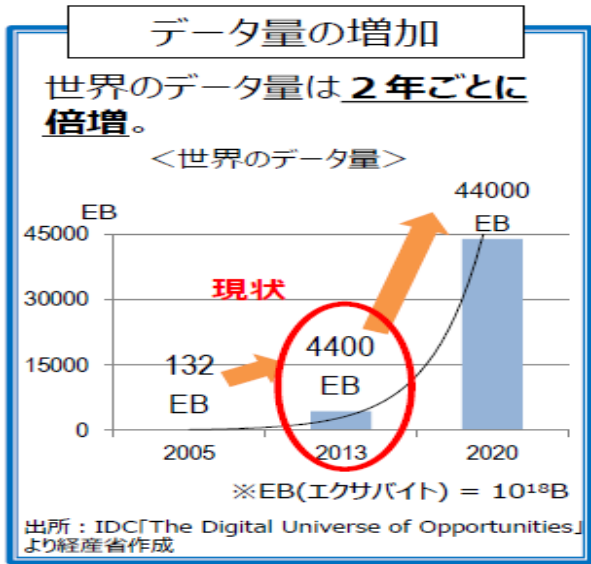
■交通手段分担率の推移



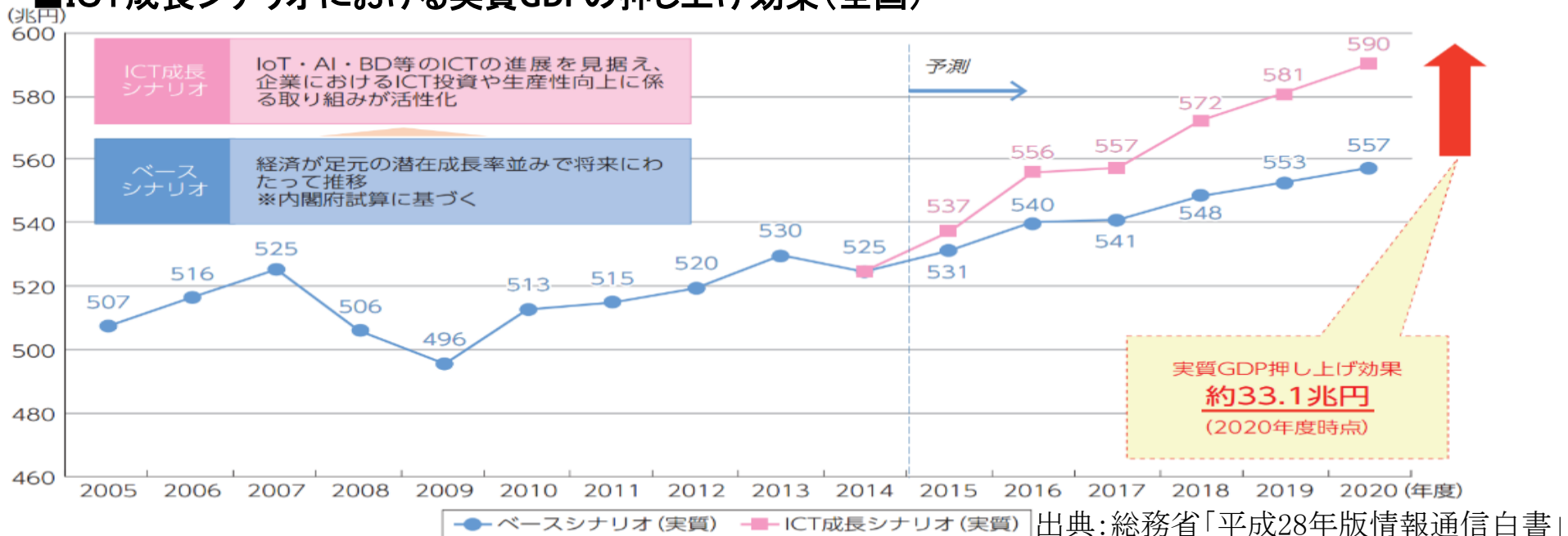
・H4からH26にかけて、自動車の割合が約14ポイントと他の交通手段に比べて大きく増加
 ・一方で、自転車および徒歩の分担率はH4からH26にかけて大きく減少

○「ICTの劇的な変化への対応」に関するデータ

・データ量の増加、処理性能の向上、AIの非連続的進歩が急速に進展



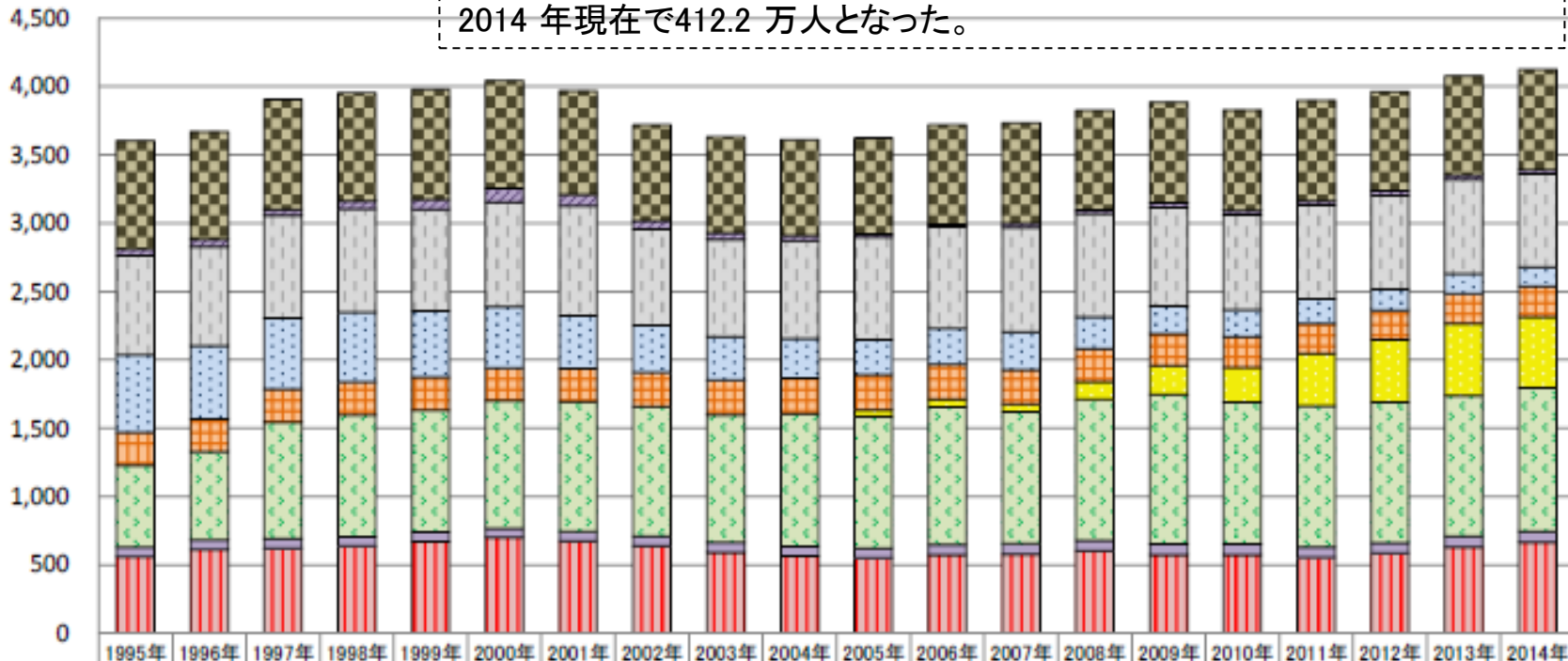
■ICT成長シナリオにおける実質GDPの押し上げ効果(全国)



■全国のICT産業の雇用者数の推移

(千人)

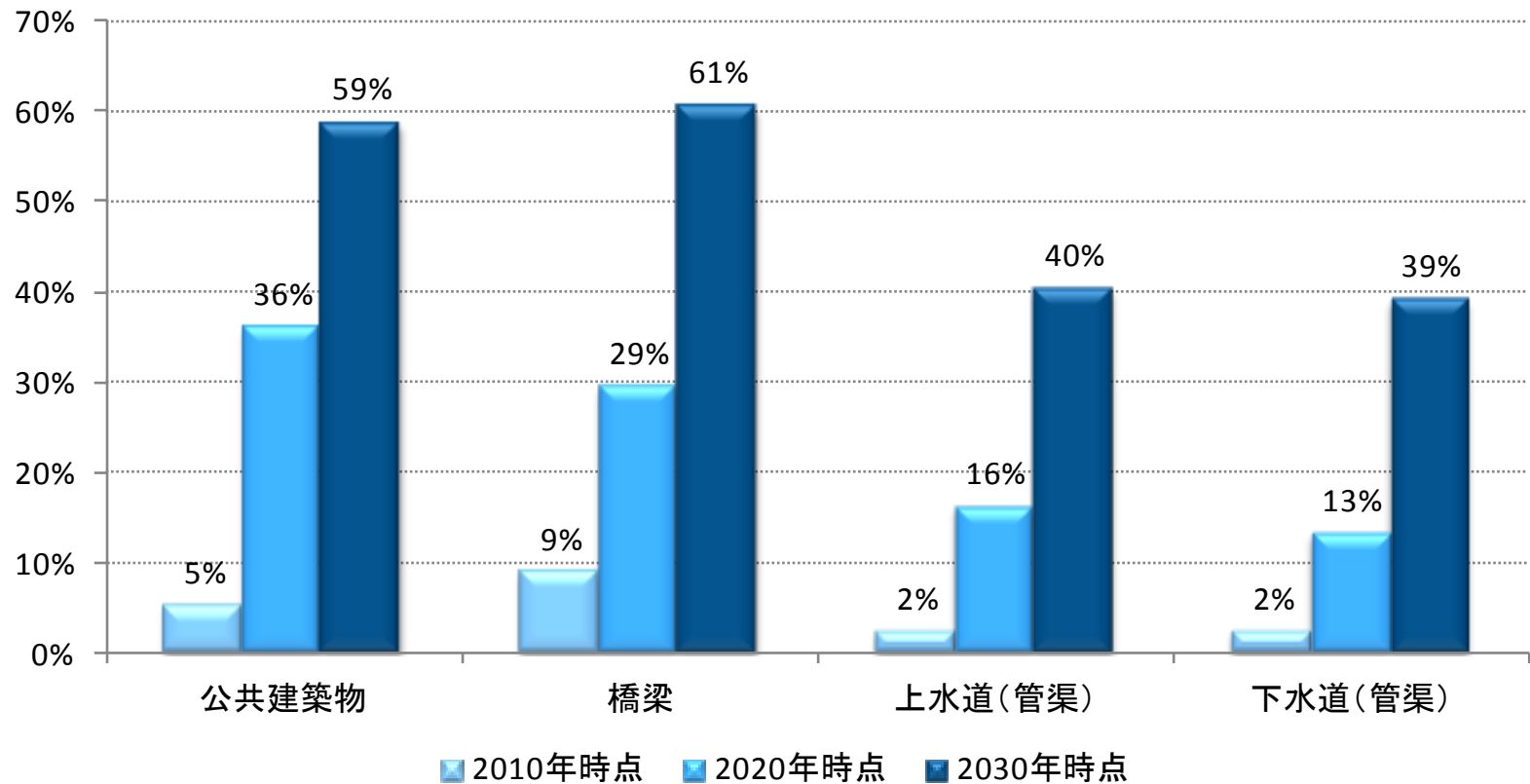
・全国の情報通信産業の雇用者数動向は、1995～2000年まで増加の後、減少に転じ、2005年より再び増加し2014年まで増加傾向は続いており、2014年現在で412.2万人となった。



	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
情報通信産業合計	3,603	3,670	3,902	3,953	3,979	4,042	3,966	3,719	3,632	3,609	3,623	3,719	3,734	3,825	3,884	3,828	3,898	3,964	4,078	4,124
■9. 研究	794	790	800	789	807	787	757	701	700	699	702	728	733	726	736	734	733	726	725	733
■8. 情報通信関連建設業	48	50	44	60	73	100	81	61	49	36	23	19	30	28	35	32	32	35	34	31
□7. 情報通信関連サービス業	724	725	754	756	741	765	803	706	711	717	748	743	766	756	720	696	688	687	687	680
■6. 情報通信関連製造業	567	536	520	510	487	451	388	342	321	290	255	262	277	231	203	197	181	154	146	142
■5. 映像・音声・文字情報制作業	238	238	240	242	240	235	241	248	251	259	259	255	251	243	233	226	218	215	219	222
■4. インターネット附随サービス業											53	61	61	130	210	253	382	456	526	519
■3. 情報サービス業	602	648	853	889	893	936	950	948	934	975	958	1,002	959	1,029	1,094	1,038	1,033	1,028	1,029	1,050
■2. 放送業	69	70	70	69	68	66	67	73	71	70	73	76	78	76	78	78	75	76	80	80
■1. 通信業	560	612	623	638	672	702	677	640	594	564	552	574	580	606	574	575	556	587	632	667

○「公共施設等の適正管理の推進」に関するデータ

■宇都宮市の40年以上経過した施設の割合



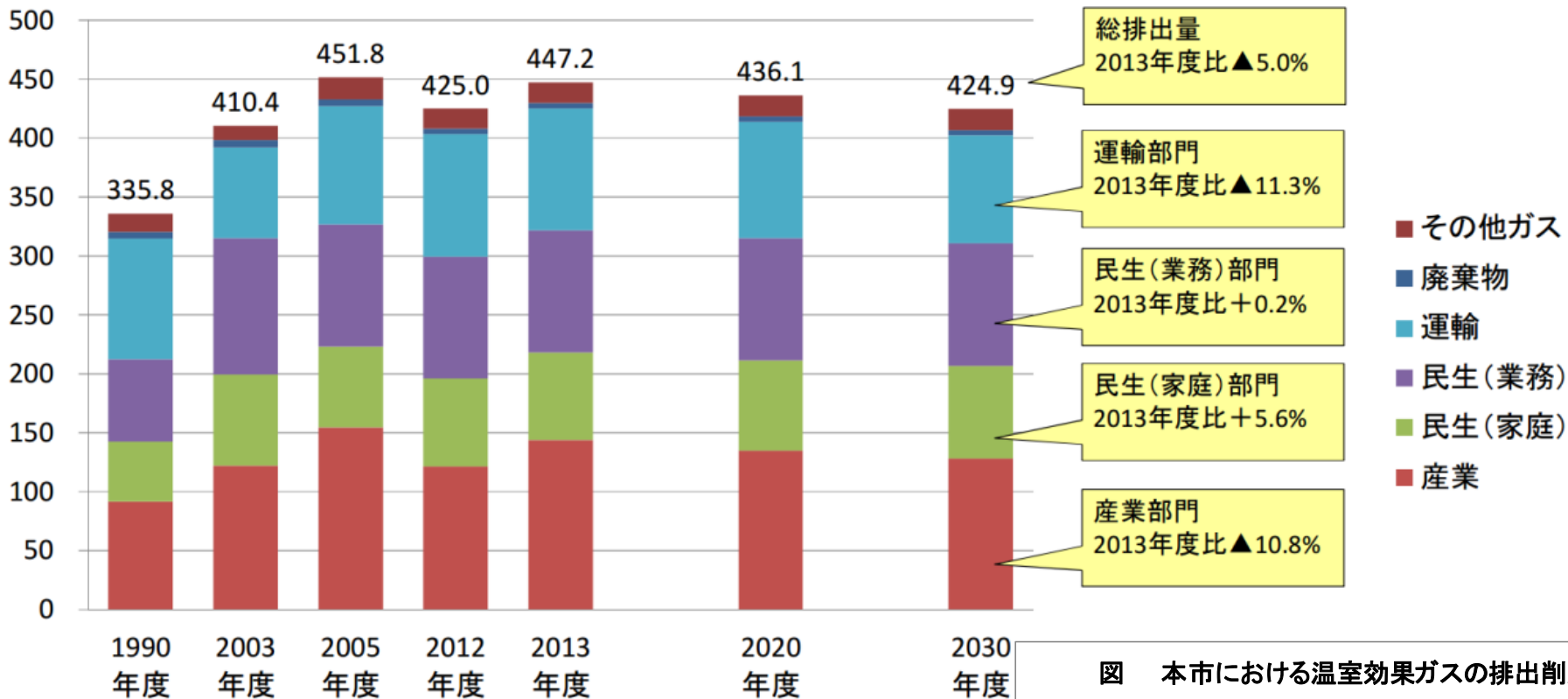
出典:宇都宮市公共施設等総合管理計画

・40年以上経過した施設の割合が今後急増し、2030年時点では、公共建築物や橋梁では約6割、上水道・下水道管渠では約4割に達する

○「環境問題への適切な対応」に関連するデータ

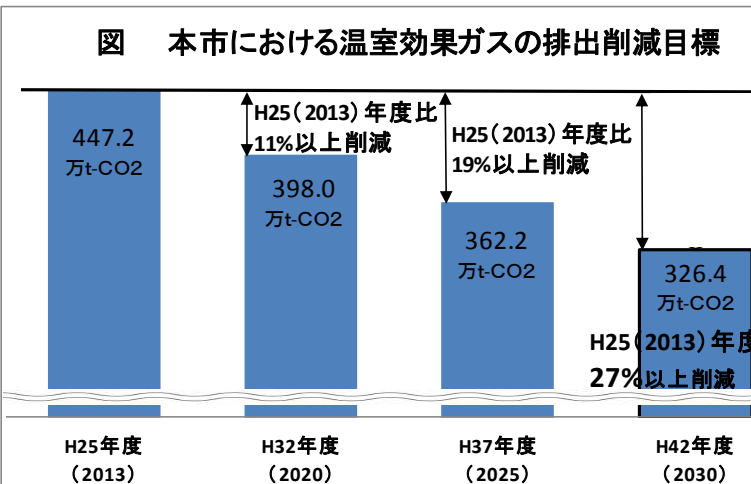
■宇都宮市における温室効果ガス排出量の推移と見通し(現状すう勢ケース)

(万t-CO₂)

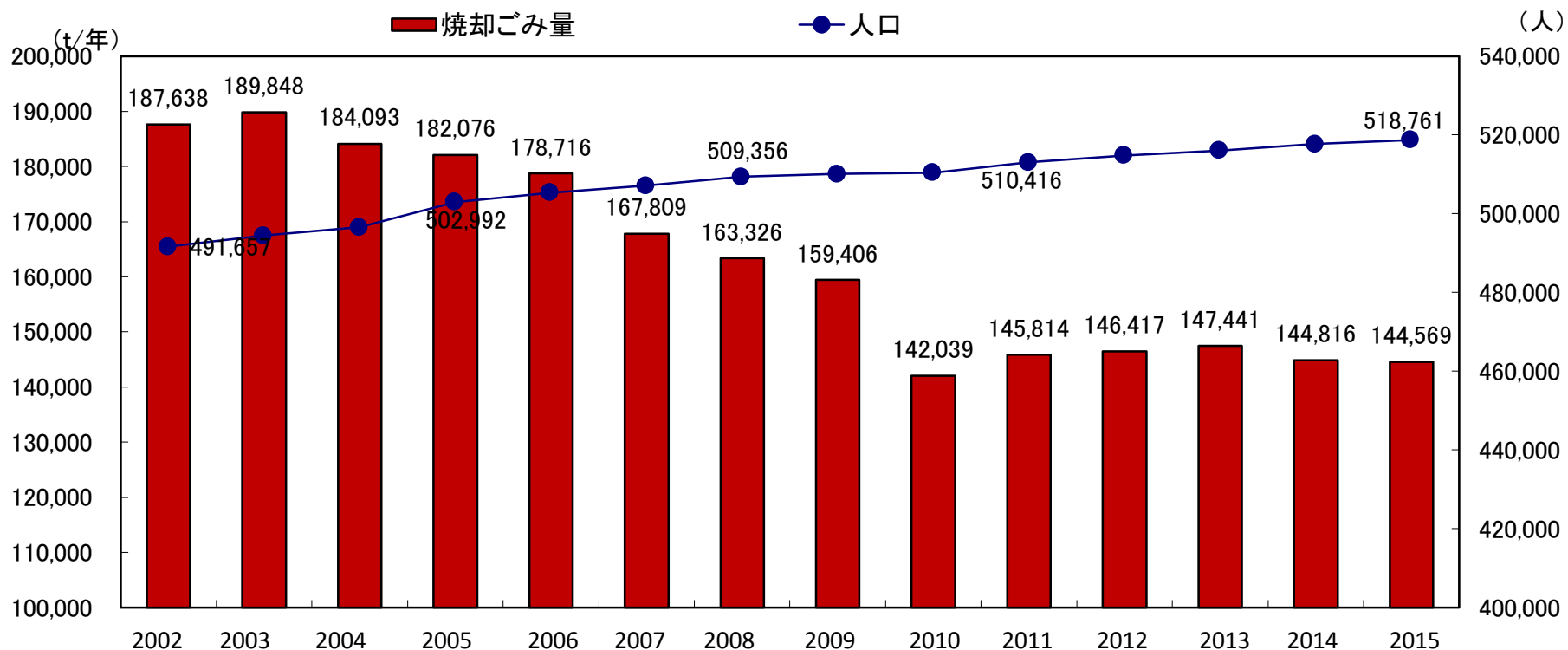


出典:宇都宮市地球温暖化対策実行計画区域施策編

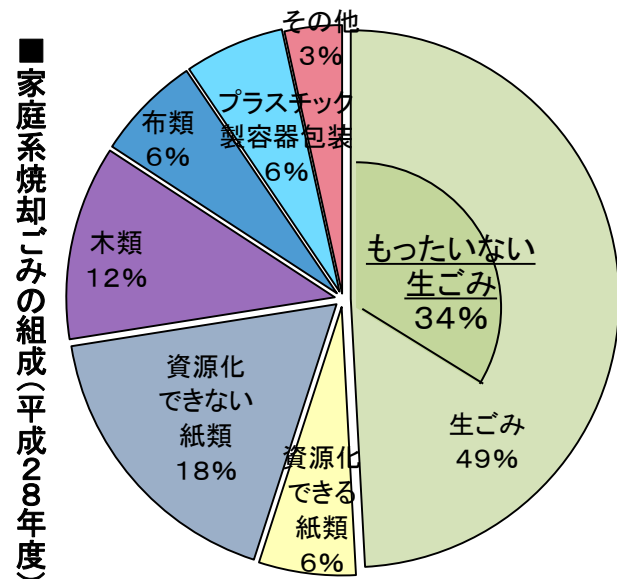
・推計では今後総排出量はわずかに減少し、2030年度(平成42年度)における総排出量は2013年度(平成25年度)比で5.0%の削減が見込まれるが、民生(家庭)部門及び民生(業務)部門の排出量は増加する見通し
 ・本市では、2030年度における温室効果ガス総排出量を、2013年度に比べ、27%以上削減、市民1人当たりの温室効果ガス排出量を、2030年度迄に0.9t-CO₂以上削減を目指す



■宇都宮市の焼却ごみ排出量の推移



- ・平成15年度にピークを迎え減少に転じ、さらに、プラスチック製容器包装の分別開始に伴い、平成22年度に大きく減少したが、近年は横ばい傾向
- ・家庭から排出される焼却ごみの内訳は、多い順に、生ごみが49%、資源化できない紙類が18%、木類が12%
- ・手つかず・未開封のまま廃棄された「もったいない生ごみ」は34%で、生ごみ全体の約7割と大きな割合を占めている



○「歴史と個性を活かしたまちづくり」に関連するデータ

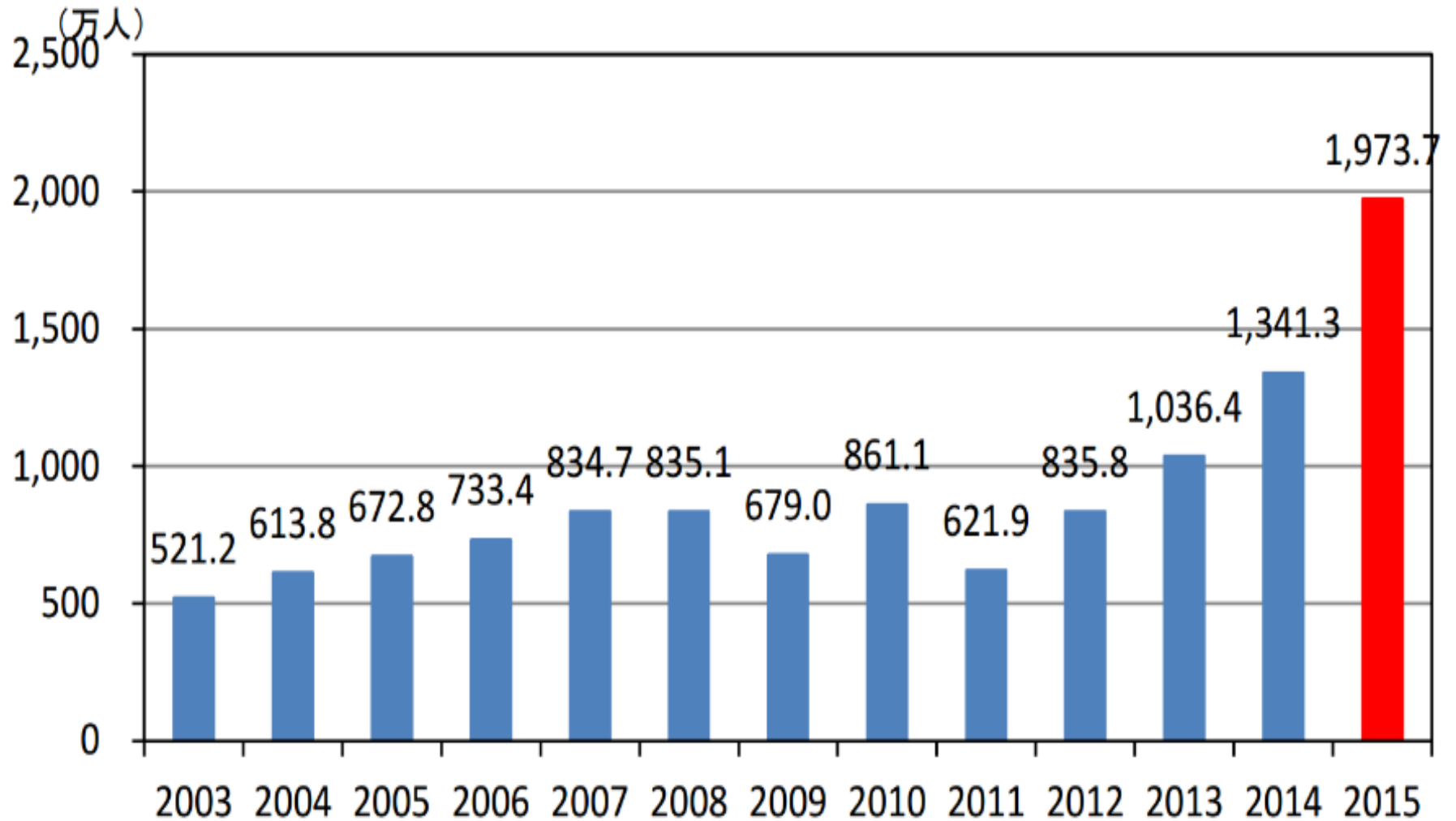
■宇都宮市の文化財の状況



市内所在指定文化財等件数(平成27年3月31日現在)

区分	国指定	国登録	県指定	市指定	市認定	計
有形文化財	11	16	109	239	9	384
無形文化財				10		10
民俗文化財	1		3	21		25
記念物	5		14	51		70
合計	17	16	126	321	9	489

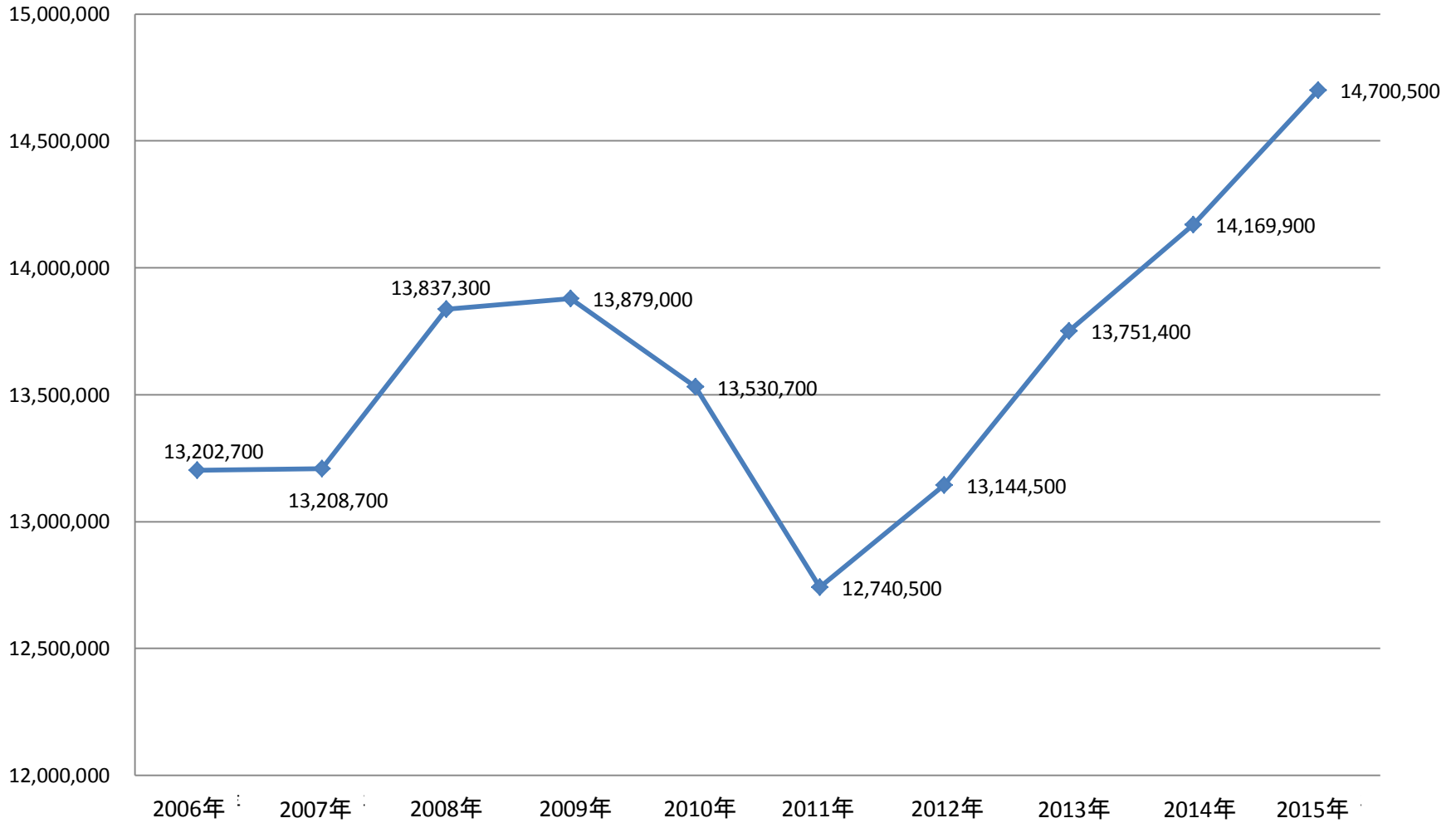
■全国の訪日外国人旅行者数の推移



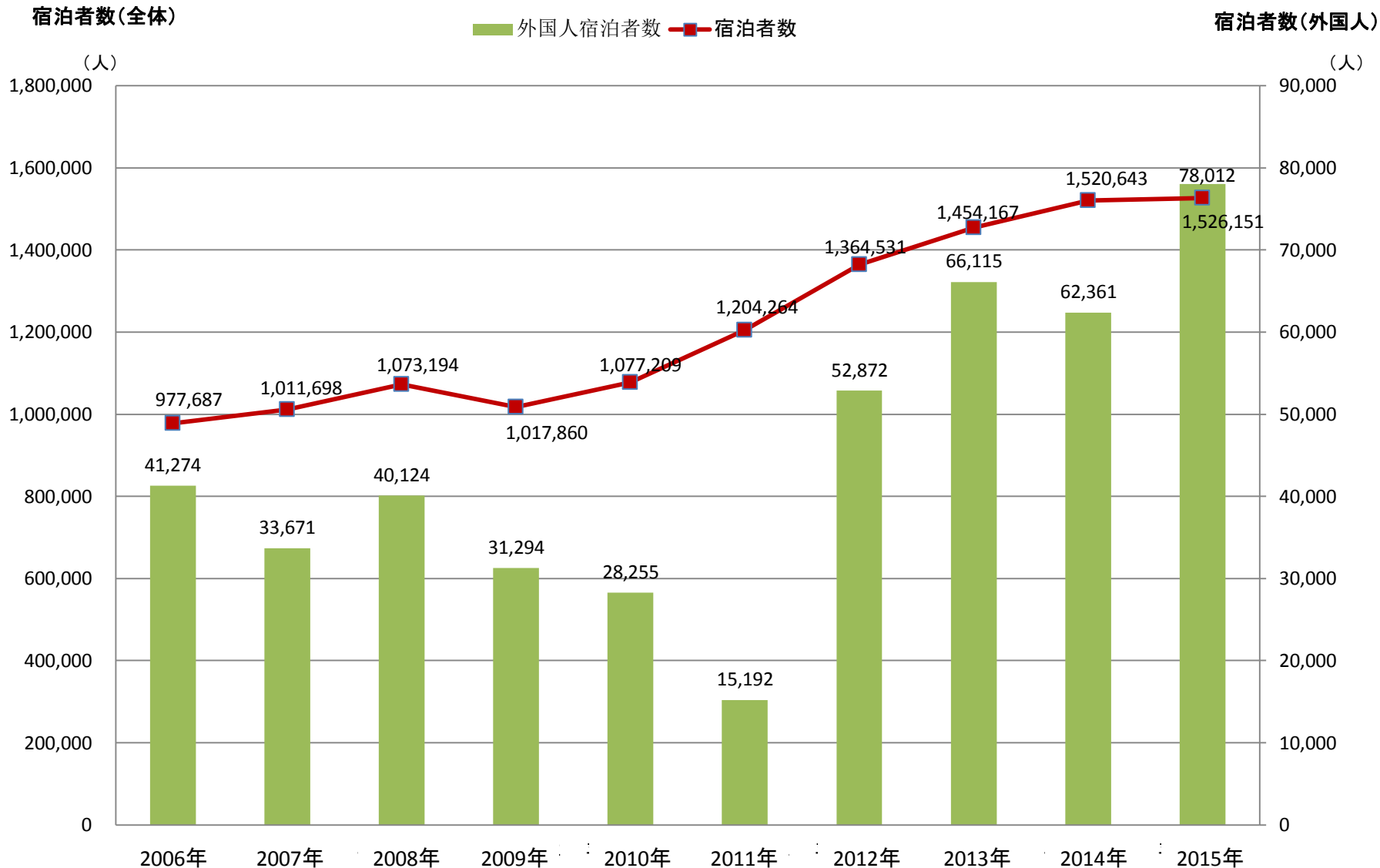
出典:観光庁「平成28年度版観光白書」

■宇都宮市の観光客入込客数の推移

入込客数
(人)



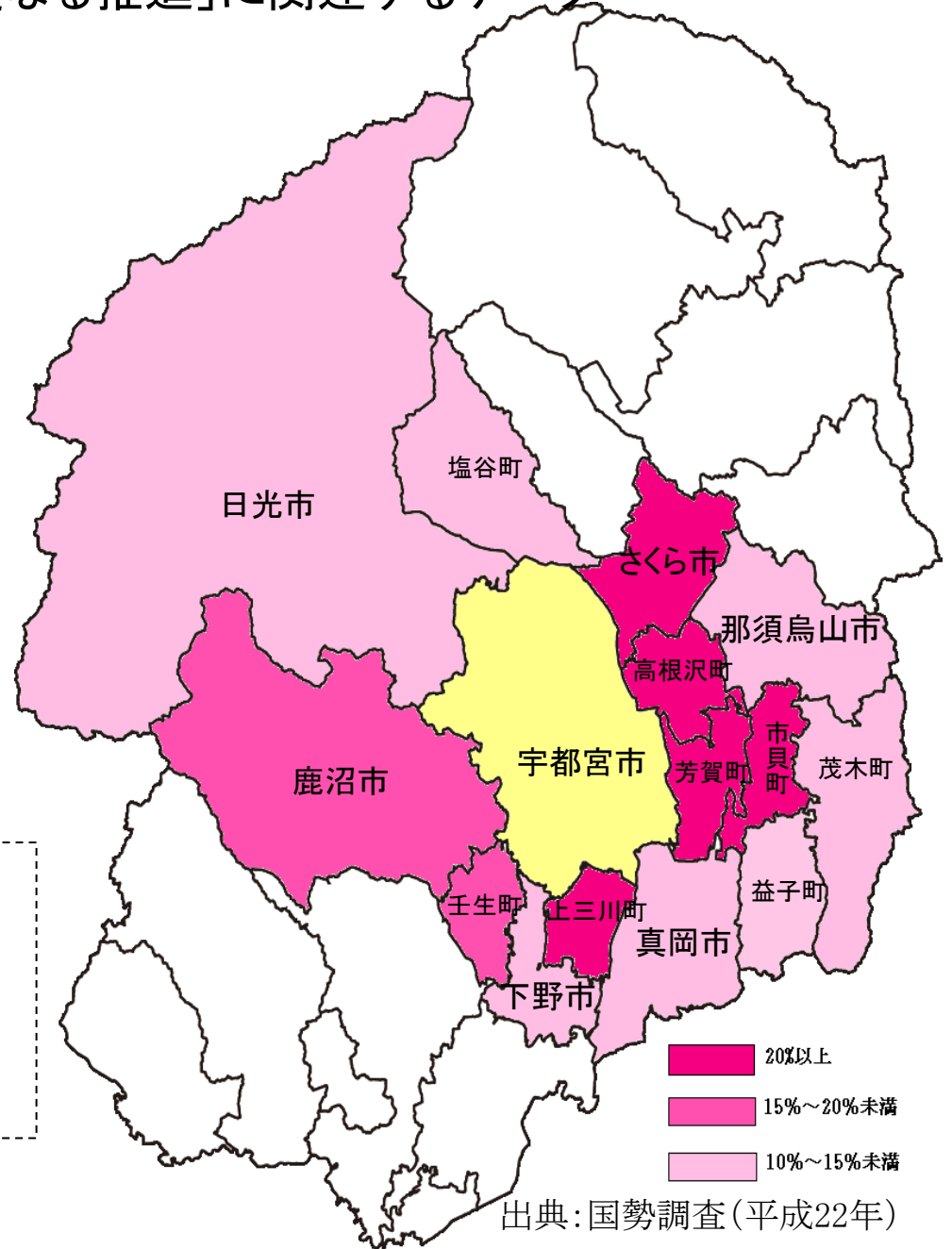
■宇都宮市の宿泊者数・外国人宿泊者数の推移



○「広域的な連携の更なる推進」に関連するデータ

■通勤通学圏

(他市町村に居住している就業者のうち、宇都宮市に通勤・通学している者の割合)



- ・20%以上
芳賀町(29.3%) 高根沢町(28.9%) 上三川町(23.5%)
市貝町(20.8%) さくら市(20.6%)
- ・10%以上
壬生町(18.8%) 鹿沼市(16.5%) 那須烏山市(14.7%)
塩谷町(14.4%) 下野市(14.2%) 益子町(12.5%)
真岡市(11.7%) 日光市(11.4%) 茂木町(11.4%)

出典:国勢調査(平成22年)

■宇都宮市の商圈

※商圈とは、宇都宮市へ買い物に来る割合
(吸収率)が10%以上になる範囲

吸収率10%以上の市町村

第1次商圈 (30%以上)

宇都宮市
上三川町
芳賀町
市貝町
高根沢町
下野市 (旧石橋町地域)

第2次商圈 (20%以上30%未満)

塩谷町
真岡市
益子町
下野市 (旧南河内町地域)

第3次商圈 (10%以上20%未満)

那珂川町
下野市 (旧国分寺町地域)
栃木市 (旧西方町地域)
日光市 (旧日光市・足尾町地域)
矢板市

